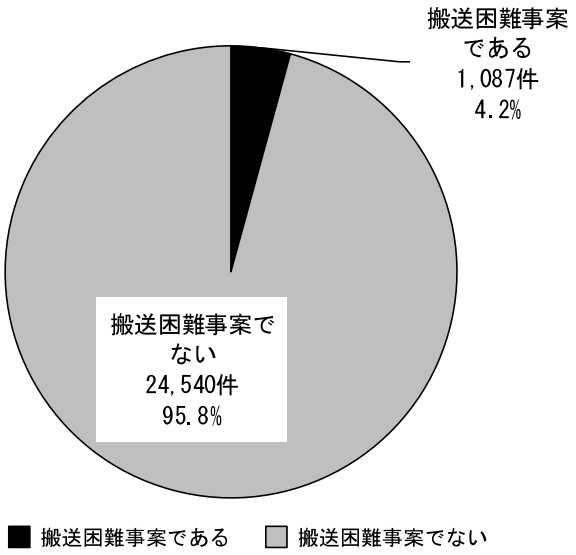
Ⅴ．搬送困難事案分析

Ｖ．１　搬送困難事案の割合

現場滞在時間が 30 分以上かつ医療機関交渉回数が 4 回以上である搬送を搬送困難事案としている。

今回調査の搬送困難事案の発生率は、全体で 4.2%であった。



図Ｖ－１－１二次保健医療圏区分別・ＭＣ圏別・搬送困難事案区分別・搬送件数

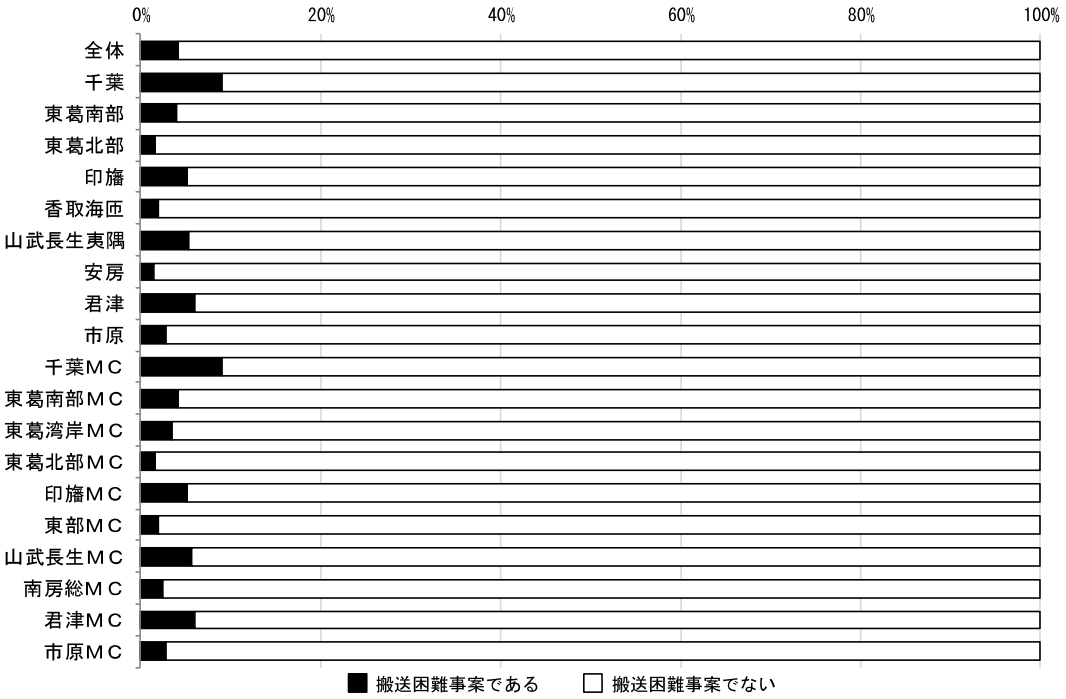
二次保健医療圏別にみると、以下（図表は次頁以降）の通り。

相対的に「千葉」（9.1%）、「君津」（6.0%）、「山武長生夷隅」（5.4%）などが多く、「安房」（1.4%）、「東葛北部」（1.6%）、「香取海匝」（2.0%）などが少ない。

表Ｖ－１－２二次保健医療圏区分別・ＭＣ圏別・搬送困難事案区分別・搬送件数

上段：（件数）、下段：（％）

名称	総計	搬送困難事案である	搬送困難事案でない
総計	25,627	1,087	24,540
	100.0	4.2	95.8
【二次保健医療圏】			
千葉	3,522	319	3,203
	100.0	9.1	90.9
東葛南部	7,206	284	6,922
	100.0	3.9	96.1
東葛北部	6,158	97	6,061
	100.0	1.6	98.4
印旛	3,107	162	2,945
	100.0	5.2	94.8
香取海匝(東部MC)	1,068	21	1,047
	100.0	2.0	98.0
山武長生夷隅	1,639	89	1,550
	100.0	5.4	94.6
安房	584	8	576
	100.0	1.4	98.6
君津	1,282	77	1,205
	100.0	6.0	94.0
市原	1,061	30	1,031
	100.0	2.8	97.2
【MC圏】			
千葉ＭＣ	3,522	319	3,203
	100.0	9.1	90.9
東葛南部ＭＣ	4,648	197	4,451
	100.0	4.2	95.8
東葛湾岸ＭＣ	2,558	87	2,471
	100.0	3.4	96.6
東葛北部ＭＣ	6,158	97	6,061
	100.0	1.6	98.4
印旛ＭＣ	3,107	162	2,945
	100.0	5.2	94.8
東部ＭＣ	1,068	21	1,047
	100.0	2.0	98.0
山武長生ＭＣ	1,316	74	1,242
	100.0	5.6	94.4
南房総ＭＣ	907	23	884
	100.0	2.5	97.5
君津ＭＣ	1,282	77	1,205
	100.0	6.0	94.0
市原ＭＣ	1,061	30	1,031
	100.0	2.8	97.2

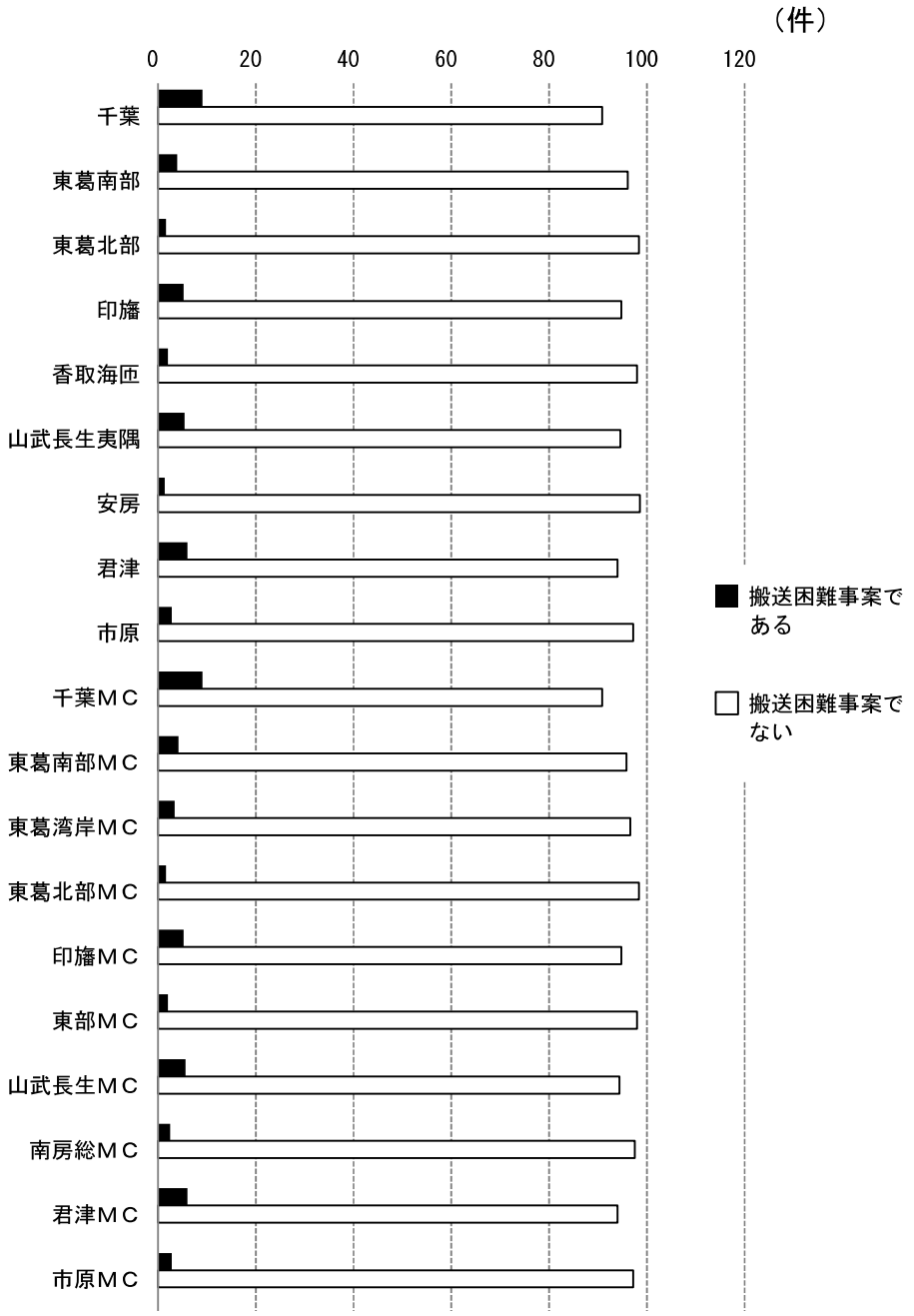


図Ｖ－１－３二次保健医療圏別、ＭＣ圏別・搬送困難事案の割合

表Ｖ－１－４二次保健医療圏区分別・ＭＣ圏別・搬送困難事案区分別・搬送件数
（10 万人あたり）

（件数）　　（件数）

名称	総計	搬送困難事案である	搬送困難事案でない
総計	25,627	1,087	24,540
千葉	3,522	319	3,203
東葛南部	7,206	284	6,922
東葛北部	6,158	97	6,061
印旛	3,107	162	2,945
香取海匝(東部MC)	1,068	21	1,047
山武長生夷隅	1,639	89	1,550
安房	584	8	576
君津	1,282	77	1,205
市原	1,061	30	1,031
千葉ＭＣ	3,522	319	3,203
東葛南部ＭＣ	4,648	197	4,451
東葛湾岸ＭＣ	2,558	87	2,471
東葛北部ＭＣ	6,158	97	6,061
印旛ＭＣ	3,107	162	2,945
東部ＭＣ	1,068	21	1,047
山武長生ＭＣ	1,316	74	1,242
南房総ＭＣ	907	23	884
君津ＭＣ	1,282	77	1,205
市原ＭＣ	1,061	30	1,031

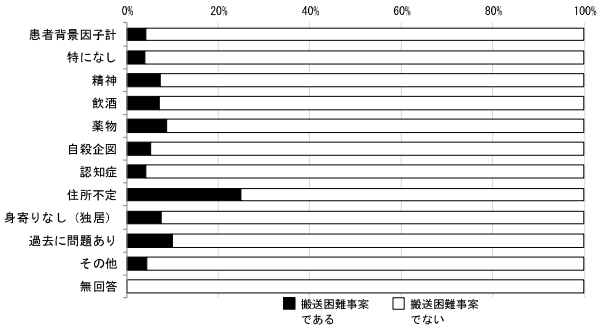


図Ⅴ－１－５二次保健医療圏別、ＭＣ圏別・搬送困難事案の割合
（10 万人あたり）

患者背景因子別に搬送困難事案の割合をみると、搬送件数が上位のもの（「特になし」を除く）では、「認知症」（692 件中 30 件で 4.3%）、「精神」（609 件中 45 件で 7.4%）、「飲酒」（425 件中 30 件で 7.1%）の順となっている。

表Ｖ－１－４患者背景因子別・搬送困難事例区分別・搬送件数

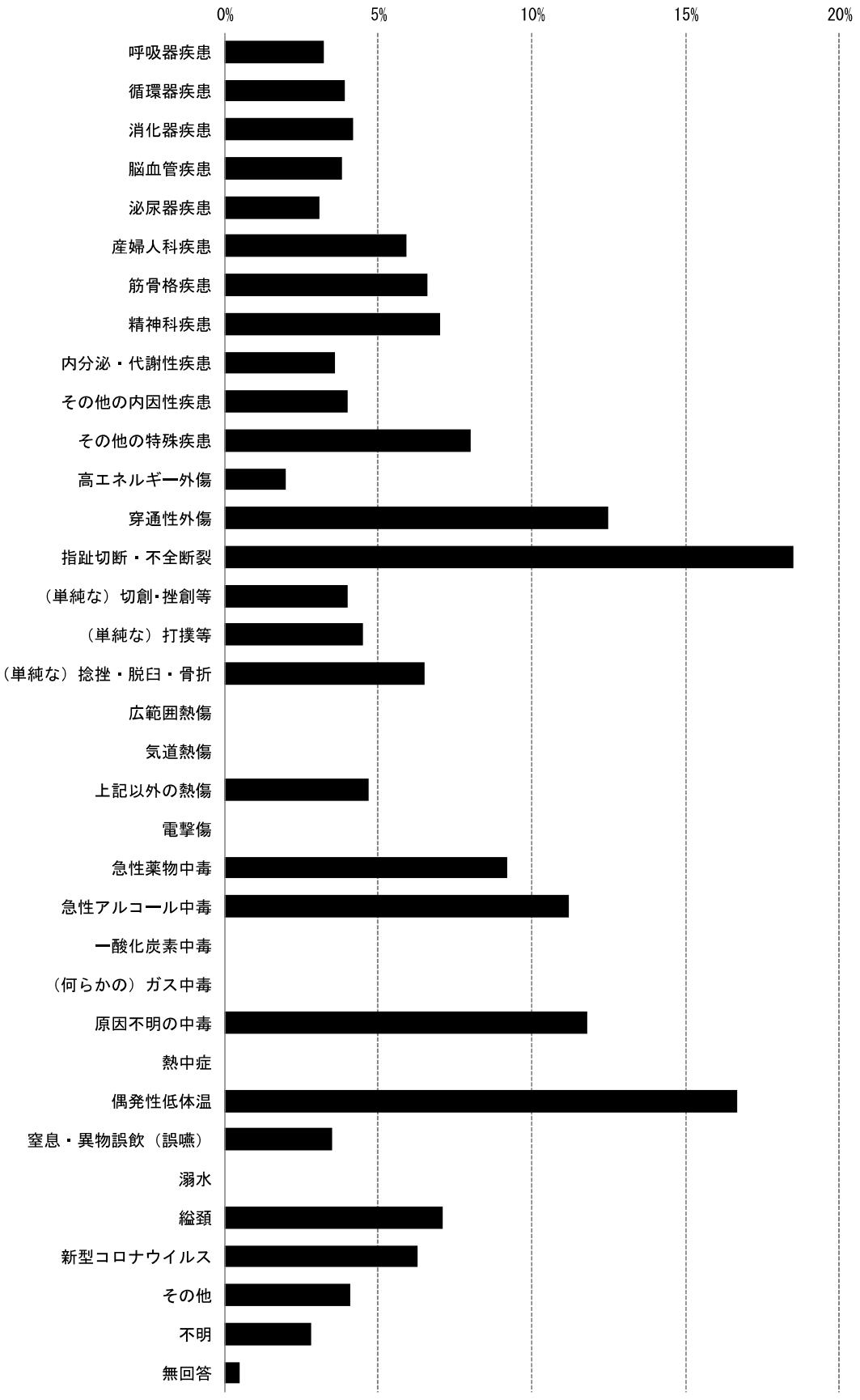
	（件数）	（件数）		（%）	
	総計	搬送困難事案である	搬送困難事案でない	搬送困難事案である	搬送困難事案でない
患者背景因子計	25,627	1,087	24,540	4.2	95.8
特になし	23,135	931	22,204	4.0	96.0
精神	609	45	564	7.4	92.6
飲酒	425	30	395	7.1	92.9
薬物	34	3	31	8.8	91.2
自殺企図	76	4	72	5.3	94.7
認知症	692	30	662	4.3	95.7
住所不定	16	4	12	25.0	75.0
身寄りなし（独居）	320	24	296	7.5	92.5
過去に問題あり	30	3	27	10.0	90.0
その他	288	13	275	4.5	95.5
無回答	2	0	2	0.0	100.0



救急隊による判断傷病名Ａ別に搬送困難事案の割合をみると、搬送困難事案である割合が上位のもの（件数が 30 件未満のものを除く）では、「急性アルコール中毒」11.2%、「急性薬物中毒」9.2%、「その他の特殊疾患」8.0%、「精神科疾患」7.0%、「筋骨格疾患」6.6%の順に割合が多くなっている。

表Ｖ－１－５救急隊による判断傷病名Ａ別・搬送困難事例区分別・搬送件数

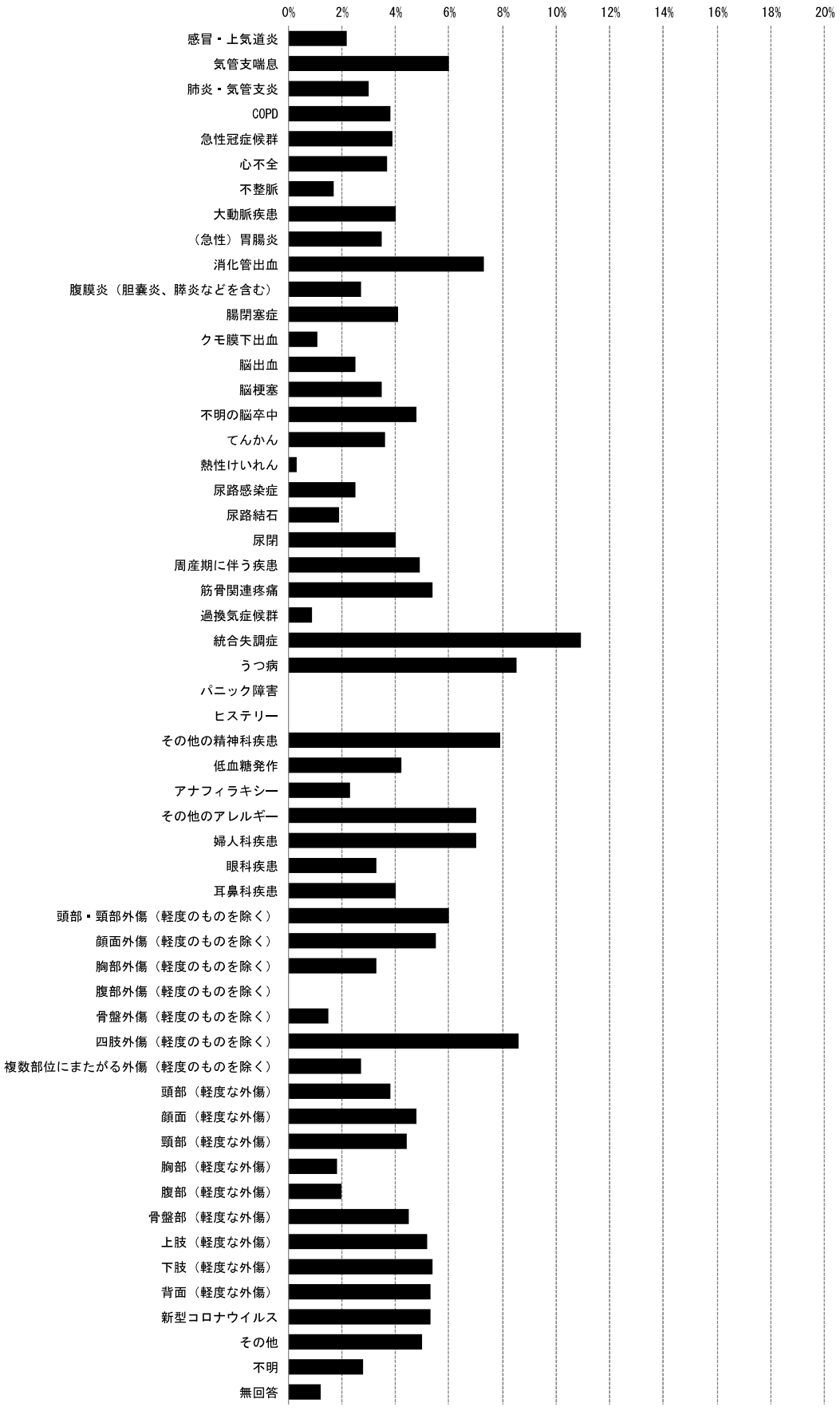
	（件数）	（件数）		（%）	
	総計	搬送困難事案である	搬送困難事案でない	搬送困難事案である	搬送困難事案でない
総計	25,627	1,087	24,540	4.2	95.8
呼吸器疾患	1,850	60	1,790	3.2	96.8
循環器疾患	1,899	74	1,825	3.9	96.1
消化器疾患	2,744	116	2,628	4.2	95.8
脳血管疾患	1,677	63	1,614	3.8	96.2
泌尿器疾患	619	19	600	3.1	96.9
産婦人科疾患	220	13	207	5.9	94.1
筋骨格疾患	499	33	466	6.6	93.4
精神科疾患	298	21	277	7.0	93.0
内分泌・代謝性疾患	308	11	297	3.6	96.4
その他の内因性疾患	4,742	190	4,552	4.0	96.0
その他の特殊疾患	75	6	69	8.0	92.0
高エネルギー外傷	148	3	145	2.0	98.0
穿通性外傷	8	1	7	12.5	87.5
指趾切断・不全断裂	27	5	22	18.5	81.5
（単純な）切創･挫創等	1,443	57	1,386	4.0	96.0
（単純な）打撲等	2,893	129	2,764	4.5	95.5
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	1,635	106	1,529	6.5	93.5
広範囲熱傷	2	0	2	0.0	100.0
気道熱傷	9	0	9	0.0	100.0
上記以外の熱傷	43	2	41	4.7	95.3
電撃傷	0	0	0	0.0	0.0
急性薬物中毒	119	11	108	9.2	90.8
急性アルコール中毒	116	13	103	11.2	88.8
一酸化炭素中毒	9	0	9	0.0	100.0
（何らかの）ガス中毒	3	0	3	0.0	100.0
原因不明の中毒	17	2	15	11.8	88.2
熱中症	26	0	26	0.0	100.0
偶発性低体温	12	2	10	16.7	83.3
窒息・異物誤飲（誤嚥）	113	4	109	3.5	96.5
溺水	13	0	13	0.0	100.0
縊頚	14	1	13	7.1	92.9
新型コロナウイルス	95	6	89	6.3	93.7
その他	2,612	107	2,505	4.1	95.9
不明	1,127	31	1,096	2.8	97.2
無回答	212	1	211	0.5	99.5


0%
5%
10%
15%
20%
呼吸器疾患
循環器疾患
消化器疾患
脳血管疾患
泌尿器疾患
産婦人科疾患
筋骨格疾患
精神科疾患
内分泌・代謝性疾患
その他の内因性疾患
その他の特殊疾患
高エネルギー外傷
穿通性外傷
指趾切断・不全断裂
（単純な）切創･挫創等
（単純な）打撲等
（単純な）捻挫・脱臼・骨折
広範囲熱傷
気道熱傷
上記以外の熱傷
電撃傷
急性薬物中毒
急性アルコール中毒
一酸化炭素中毒
（何らかの）ガス中毒
原因不明の中毒
熱中症
偶発性低体温
窒息・異物誤飲（誤嚥）
溺水
縊頚
新型コロナウイルス
その他
不明
無回答

判断傷病名Ｂ別に搬送困難事案の割合をみると、搬送困難事案である割合が上位のもの（件数が 30 件未満のものを除く）では、「統合失調症」10.9%、「四肢外傷（軽度のものを除く）」8.6%、「うつ病」8.5%、「その他の精神科疾患」7.9%の順に割合が多くなっている。

表Ｖ－１－６救急隊による判断傷病名Ｂ別・搬送困難事例区分別・搬送件数

	（件数）		（件数）		（%）
	総計	搬送困難事案である	搬送困難事案でない	搬送困難事案である	搬送困難事案でない
総計	25,627	1,087	24,540	4.2	95.8
感冒・上気道炎	579	13	566	2.2	97.8
気管支喘息	134	8	126	6.0	94.0
肺炎・気管支炎	969	29	940	3.0	97.0
COPD	80	3	77	3.8	96.2
急性冠症候群	437	17	420	3.9	96.1
心不全	534	20	514	3.7	96.3
不整脈	302	5	297	1.7	98.3
大動脈疾患	126	5	121	4.0	96.0
（急性）胃腸炎	768	27	741	3.5	96.5
消化管出血	412	30	382	7.3	92.7
腹膜炎（胆嚢炎、膵炎などを含む）	222	6	216	2.7	97.3
腸閉塞症	220	9	211	4.1	95.9
クモ膜下出血	88	1	87	1.1	98.9
脳出血	278	7	271	2.5	97.5
脳梗塞	602	21	581	3.5	96.5
不明の脳卒中	398	19	379	4.8	95.2
てんかん	279	10	269	3.6	96.4
熱性けいれん	365	1	364	0.3	99.7
尿路感染症	120	3	117	2.5	97.5
尿路結石	266	5	261	1.9	98.1
尿閉	126	5	121	4.0	96.0
周産期に伴う疾患	61	3	58	4.9	95.1
筋骨関連疼痛	373	20	353	5.4	94.6
過換気症候群	113	1	112	0.9	99.1
統合失調症	46	5	41	10.9	89.1
うつ病	47	4	43	8.5	91.5
パニック障害	26	0	26	0.0	100.0
ヒステリー	8	0	8	0.0	100.0
その他の精神科疾患	202	16	186	7.9	92.1
低血糖発作	96	4	92	4.2	95.8
アナフィラキシー	132	3	129	2.3	97.7
その他のアレルギー	71	5	66	7.0	93.0
婦人科疾患	158	11	147	7.0	93.0
眼科疾患	30	1	29	3.3	96.7
耳鼻科疾患	375	15	360	4.0	96.0
頭部・頸部外傷（軽度のものを除く）	283	17	266	6.0	94.0
顔面外傷（軽度のものを除く）	127	7	120	5.5	94.5
胸部外傷（軽度のものを除く）	60	2	58	3.3	96.7
腹部外傷（軽度のものを除く）	21	0	21	0.0	100.0
骨盤外傷（軽度のものを除く）	67	1	66	1.5	98.5
四肢外傷（軽度のものを除く）	513	44	469	8.6	91.4
複数部位にまたがる外傷（軽度のものを除く）	74	2	72	2.7	97.3
頭部（軽度な外傷）	1,305	50	1,255	3.8	96.2
顔面（軽度な外傷）	765	37	728	4.8	95.2
頸部（軽度な外傷）	180	8	172	4.4	95.6
胸部（軽度な外傷）	221	4	217	1.8	98.2
腹部（軽度な外傷）	51	1	50	2.0	98.0
骨盤部（軽度な外傷）	221	10	211	4.5	95.5
上肢（軽度な外傷）	792	41	751	5.2	94.8
下肢（軽度な外傷）	1,149	62	1,087	5.4	94.6
背面（軽度な外傷）	302	16	286	5.3	94.7
新型コロナウイルス	114	6	108	5.3	94.7
その他	7,705	382	7,323	5.0	95.0
不明	2,139	59	2,080	2.8	97.2
無回答	495	6	489	1.2	98.8


0%
2%
4%
6%
8%
10%
12%
14%
16%
18%
20%
感冒・上気道炎
気管支喘息
肺炎・気管支炎
COPD
急性冠症候群
心不全
不整脈
大動脈疾患
（急性）胃腸炎
消化管出血
腹膜炎（胆嚢炎、膵炎などを含む）
腸閉塞症
クモ膜下出血
脳出血
脳梗塞
不明の脳卒中
てんかん
熱性けいれん
尿路感染症
尿路結石
尿閉
周産期に伴う疾患
筋骨関連疼痛
過換気症候群
統合失調症
うつ病
パニック障害
ヒステリー
その他の精神科疾患
低血糖発作
アナフィラキシー
その他のアレルギー
婦人科疾患
眼科疾患
耳鼻科疾患
頭部・顎部外傷（軽度のものを除く）
顔面外傷（軽度のものを除く）
胸部外傷（軽度のものを除く）
腹部外傷（軽度のものを除く）
骨盤外傷（軽度のものを除く）
四肢外傷（軽度のものを除く）
複数部位にまたがる外傷（軽度のものを除く）
頭部（軽度な外傷）
顔面（軽度な外傷）
頸部（軽度な外傷）
胸部（軽度な外傷）
腹部（軽度な外傷）
骨盤部（軽度な外傷）
上肢（軽度な外傷）
下肢（軽度な外傷）
背面（軽度な外傷）
新型コロナウイルス
その他
不明
無回答

Ｖ．２　搬送困難事案の傷病程度別搬送

搬送データ（総計 25,627 件）から搬送困難事案（1,087 件）を抽出し、エリア別に傷病程度ごとの搬送状況をみた。

全体では「中等症」（51.6％）と「軽症」（43.5％）で 95.1％におよぶ。

二次保健医療圏では、「中等症」では「安房」（75.0％）が最も多くなり、「軽症」では「君津」（57.1％）が最も多くなっている。

表Ｖ－２二次保健医療圏区分別・ＭＣ圏別・傷病程度別・搬送者数

（件数）　　（件数）

名称	総計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	無回答
総計	1,087	3	50	561	473	0	0
【二次保健医療圏】							
千葉	319	0	5	143	171	0	0
東葛南部	284	0	14	165	105	0	0
東葛北部	97	1	10	47	39	0	0
印旛	162	0	7	97	58	0	0
香取海匝(東部MC)	21	0	1	9	11	0	0
山武長生夷隅	89	2	8	46	33	0	0
安房	8	0	0	6	2	0	0
君津	77	0	3	30	44	0	0
市原	30	0	2	18	10	0	0
【MC圏】							
千葉ＭＣ	319	0	5	143	171	0	0
東葛南部ＭＣ	197	0	9	110	78	0	0
東葛湾岸ＭＣ	87	0	5	55	27	0	0
東葛北部ＭＣ	97	1	10	47	39	0	0
印旛ＭＣ	162	0	7	97	58	0	0
東部ＭＣ	21	0	1	9	11	0	0
山武長生ＭＣ	74	0	6	42	26	0	0
南房総ＭＣ	23	2	2	10	9	0	0
君津ＭＣ	77	0	3	30	44	0	0
市原ＭＣ	30	0	2	18	10	0	0

（％）　　（％）

名称	総計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	無回答
総計	100.0	0.3	4.6	51.6	43.5	0.0	0.0
【二次保健医療圏】							
千葉	100.0	0.0	1.6	44.8	53.6	0.0	0.0
東葛南部	100.0	0.0	4.9	58.1	37.0	0.0	0.0
東葛北部	100.0	1.0	10.3	48.5	40.2	0.0	0.0
印旛	100.0	0.0	4.3	59.9	35.8	0.0	0.0
香取海匝(東部MC)	100.0	0.0	4.8	42.8	52.4	0.0	0.0
山武長生夷隅	100.0	2.2	9.0	51.7	37.1	0.0	0.0
安房	100.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
君津	100.0	0.0	3.9	39.0	57.1	0.0	0.0
市原	100.0	0.0	6.7	60.0	33.3	0.0	0.0
【MC圏】							
千葉ＭＣ	100.0	0.0	1.6	44.8	53.6	0.0	0.0
東葛南部ＭＣ	100.0	0.0	4.6	55.8	39.6	0.0	0.0
東葛湾岸ＭＣ	100.0	0.0	5.8	63.2	31.0	0.0	0.0
東葛北部ＭＣ	100.0	1.0	10.3	48.5	40.2	0.0	0.0
印旛ＭＣ	100.0	0.0	4.3	59.9	35.8	0.0	0.0
東部ＭＣ	100.0	0.0	4.8	42.8	52.4	0.0	0.0
山武長生ＭＣ	100.0	0.0	8.1	56.8	35.1	0.0	0.0
南房総ＭＣ	100.0	8.7	8.7	43.5	39.1	0.0	0.0
君津ＭＣ	100.0	0.0	3.9	39.0	57.1	0.0	0.0
市原ＭＣ	100.0	0.0	6.7	60.0	33.3	0.0	0.0

Ｖ．３　重症患者の転帰状況

突合した 20,139 件から搬送先医療機関に入院した 9,821 件のうち、消防機関の傷病程度が重症であった 1,092 件について、その転帰状況をみた。（次頁参照）

転帰状況が「死亡」のケースは、全体では 1,092 件中 155 件（14.2％）。搬送困難事例では 32 件のうち 3 件（9.4％）である。

二次保健医療圏別では、死亡率が高いのは「香取海匝（東部ＭＣ）」（29.6％）、「千葉」（28.8％）、「東葛北部」（18.3％）。低いのは「安房」（0.0％）、「東葛南部」（6.5％）、「山武長生夷隅」（8.7％）となっている。

搬送困難事案に含まれる死亡率は、搬送困難事案 0 件の「香取海匝(東部ＭＣ)」「安房」「市原」を除くと、「千葉」「印旛」が最も高くいずれも 33.3％、「東葛北部」「山武長生夷隅」「君津」が最も低くいずれも 0.0％である。

表Ｖ－３消防機関による傷病程度が重症、かつ搬送先医療機関に入院した事例における、二次保健医療圏別・地域ＭＣ別・搬送困難事案区分別・転帰区分別・搬送件数

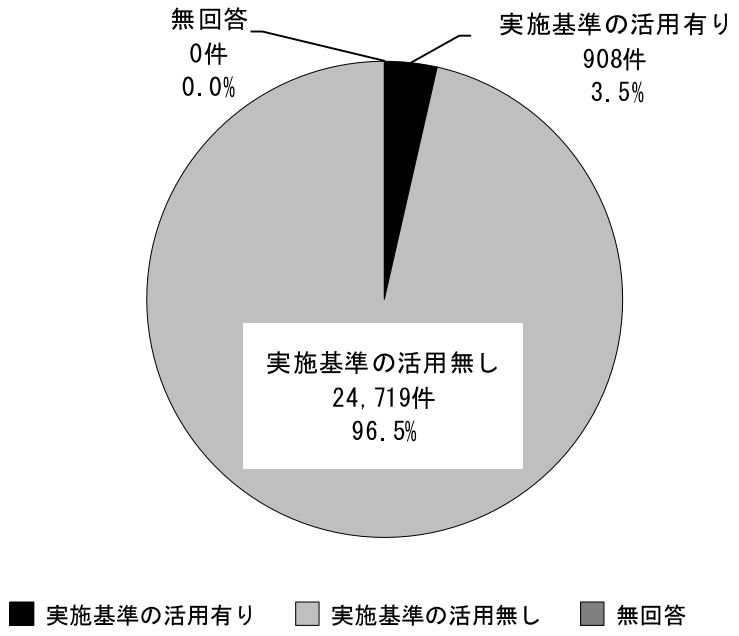
		（件数）	（件数）		（％）	
名称	搬送困難事案区分	総計	死亡	死亡以外	死亡	死亡以外
総計	搬送困難事案区分計	1,092	155	937	14.2	85.8
	搬送困難事案である	32	3	29	9.4	90.6
	搬送困難事案でない	1,060	152	908	14.3	85.7
【二次保健医療圏】						
千葉	搬送困難事案区分計	66	19	47	28.8	71.2
	搬送困難事案である	3	1	2	33.3	66.7
	搬送困難事案でない	63	18	45	28.6	71.4
東葛南部	搬送困難事案区分計	308	20	288	6.5	93.5
	搬送困難事案である	9	1	8	11.1	88.9
	搬送困難事案でない	299	19	280	6.4	93.6
東葛北部	搬送困難事案区分計	323	59	264	18.3	81.7
	搬送困難事案である	8	0	8	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	315	59	256	18.7	81.3
印旛	搬送困難事案区分計	130	19	111	14.6	85.4
	搬送困難事案である	3	1	2	33.3	66.7
	搬送困難事案でない	127	18	109	14.2	85.8
香取海匝(東部MC)	搬送困難事案区分計	54	16	38	29.6	70.4
	搬送困難事案である	0	0	0	0.0	0.0
	搬送困難事案でない	54	16	38	29.6	70.4
山武長生夷隅	搬送困難事案区分計	103	9	94	8.7	91.3
	搬送困難事案である	6	0	6	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	97	9	88	9.3	90.7
安房	搬送困難事案区分計	9	0	9	0.0	100.0
	搬送困難事案である	0	0	0	0.0	0.0
	搬送困難事案でない	9	0	9	0.0	100.0
君津	搬送困難事案区分計	44	7	37	15.9	84.1
	搬送困難事案である	3	0	3	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	41	7	34	17.1	82.9
市原	搬送困難事案区分計	55	6	49	10.9	89.1
	搬送困難事案である	0	0	0	0.0	0.0
	搬送困難事案でない	55	6	49	10.9	89.1
【MC圏】						
千葉ＭＣ	搬送困難事案区分計	66	19	47	28.8	71.2
	搬送困難事案である	3	1	2	33.3	66.7
	搬送困難事案でない	63	18	45	28.6	71.4
東葛南部ＭＣ	搬送困難事案区分計	206	10	196	4.9	95.1
	搬送困難事案である	5	1	4	20.0	80.0
	搬送困難事案でない	201	9	192	4.5	95.5
東葛湾岸ＭＣ	搬送困難事案区分計	102	10	92	9.8	90.2
	搬送困難事案である	4	0	4	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	98	10	88	10.2	89.8
東葛北部ＭＣ	搬送困難事案区分計	323	59	264	18.3	81.7
	搬送困難事案である	8	0	8	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	315	59	256	18.7	81.3
印旛ＭＣ	搬送困難事案区分計	130	19	111	14.6	85.4
	搬送困難事案である	3	1	2	33.3	66.7
	搬送困難事案でない	127	18	109	14.2	85.8
東部ＭＣ	搬送困難事案区分計	54	16	38	29.6	70.4
	搬送困難事案である	0	0	0	0.0	0.0
	搬送困難事案でない	54	16	38	29.6	70.4
山武長生ＭＣ	搬送困難事案区分計	61	6	55	9.8	90.2
	搬送困難事案である	5	0	5	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	56	6	50	10.7	89.3
南房総ＭＣ	搬送困難事案区分計	51	3	48	5.9	94.1
	搬送困難事案である	1	0	1	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	50	3	47	6.0	94.0
君津ＭＣ	搬送困難事案区分計	44	7	37	15.9	84.1
	搬送困難事案である	3	0	3	0.0	100.0
	搬送困難事案でない	41	7	34	17.1	82.9
市原ＭＣ	搬送困難事案区分計	55	6	49	10.9	89.1
	搬送困難事案である	0	0	0	0.0	0.0
	搬送困難事案でない	55	6	49	10.9	89.1

Ⅵ. 実施基準の運用状況

Ⅵ．１　実施基準の活用状況

消防機関の搬送を、実施基準の活用の有無別にみると、総数 25,627 件のうち「活用有り」が 908 件、割合にして 3.5%であった。

図Ⅵ－１－１実施基準の活用状況



傷病程度が重いほど実施基準の活用が増加する傾向がみられ、「軽症」の1.7%に対し「重症」のケースでは 13.8%の活用率となっている。

表Ⅵ－１－２傷病程度別・実施基準の活用区分別・搬送件数

	（件数）			（件数）			（%）
	総計	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答
傷病程度計	25,627	908	24,719	0	3.5	96.5	0.0
死亡	209	25	184	0	12.0	88.0	0.0
重症	1,743	240	1,503	0	13.8	86.2	0.0
中等症	12,664	452	12,212	0	3.6	96.4	0.0
軽症	11,008	191	10,817	0	1.7	98.3	0.0
不明・その他	3	0	3	0	0.0	100.0	0.0
無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0

ＭＣ圏別・傷病程度別にみても、全体と同様に、傷病程度が重いほど実施基準の活用が増加する傾向がうかがえる。

ほとんどのＭＣ圏で実施基準の「活用有り」のうち「重症」が最も高い割合になっている。

ＭＣ圏別にみると「千葉」（26.9%）、「南房総」（26.9%）、「東葛南部」（21.4%）、「君津」（21.2%）が高い割合になっている。

表Ⅵ－１－３ＭＣ圏別・傷病程度別・実施基準の活用区分別・搬送件数

（件数）　（件数）　（%）

ＭＣ圏	傷病程度	総計	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答
ＭＣ圏全体	傷病程度計	25,627	908	24,719	0	3.5	96.5	0.0
	死亡	209	25	184	0	12.0	88.0	0.0
	重症	1,743	240	1,503	0	13.8	86.2	0.0
	中等症	12,664	452	12,212	0	3.6	96.4	0.0
	軽症・その他	11,011	191	10,820	0	1.7	98.3	0.0
千葉ＭＣ	傷病程度計	3,522	122	3,400	0	3.5	96.5	0.0
	死亡	16	4	12	0	25.0	75.0	0.0
	重症	119	32	87	0	26.9	73.1	0.0
	中等症	1,444	68	1,376	0	4.7	95.3	0.0
	軽症・その他	1,943	18	1,925	0	0.9	99.1	0.0
東葛南部ＭＣ	傷病程度計	4,648	250	4,398	0	5.4	94.6	0.0
	死亡	25	8	17	0	32.0	68.0	0.0
	重症	294	63	231	0	21.4	78.6	0.0
	中等症	2,350	146	2,204	0	6.2	93.8	0.0
	軽症・その他	1,979	33	1,946	0	1.7	98.3	0.0
東葛湾岸ＭＣ	傷病程度計	2,558	13	2,545	0	0.5	99.5	0.0
	死亡	31	0	31	0	0.0	100.0	0.0
	重症	179	7	172	0	3.9	96.1	0.0
	中等症	1,259	4	1,255	0	0.3	99.7	0.0
	軽症・その他	1,089	2	1,087	0	0.2	99.8	0.0
東葛北部ＭＣ	傷病程度計	6,158	296	5,862	0	4.8	95.2	0.0
	死亡	35	1	34	0	2.9	97.1	0.0
	重症	450	58	392	0	12.9	87.1	0.0
	中等症	3,231	120	3,111	0	3.7	96.3	0.0
	軽症・その他	2,442	117	2,325	0	4.8	95.2	0.0
印旛ＭＣ	傷病程度計	3,107	16	3,091	0	0.5	99.5	0.0
	死亡	15	0	15	0	0.0	100.0	0.0
	重症	231	4	227	0	1.7	98.3	0.0
	中等症	1,658	10	1,648	0	0.6	99.4	0.0
	軽症・その他	1,203	2	1,201	0	0.2	99.8	0.0
東部ＭＣ	傷病程度計	1,068	4	1,064	0	0.4	99.6	0.0
	死亡	25	0	25	0	0.0	100.0	0.0
	重症	80	3	77	0	3.8	96.2	0.0
	中等症	481	1	480	0	0.2	99.8	0.0
	軽症・その他	482	0	482	0	0.0	100.0	0.0
山武長生ＭＣ	傷病程度計	1,316	58	1,258	0	4.4	95.6	0.0
	死亡	8	0	8	0	0.0	100.0	0.0
	重症	133	18	115	0	13.5	86.5	0.0
	中等症	657	31	626	0	4.7	95.3	0.0
	軽症・その他	518	9	509	0	1.7	98.3	0.0
南房総ＭＣ	傷病程度計	907	49	858	0	5.4	94.6	0.0
	死亡	12	3	9	0	25.0	75.0	0.0
	重症	67	18	49	0	26.9	73.1	0.0
	中等症	557	25	532	0	4.5	95.5	0.0
	軽症・その他	271	3	268	0	1.1	98.9	0.0
君津ＭＣ	傷病程度計	1,282	57	1,225	0	4.4	95.6	0.0
	死亡	24	9	15	0	37.5	62.5	0.0
	重症	66	14	52	0	21.2	78.8	0.0
	中等症	519	32	487	0	6.2	93.8	0.0
	軽症・その他	673	2	671	0	0.3	99.7	0.0
市原ＭＣ	傷病程度計	1,061	43	1,018	0	4.1	95.9	0.0
	死亡	18	0	18	0	0.0	100.0	0.0
	重症	124	23	101	0	18.5	81.5	0.0
	中等症	508	15	493	0	3.0	97.0	0.0
	軽症・その他	411	5	406	0	1.2	98.8	0.0

搬送困難事案1,087件について、ＭＣ圏別に実施基準の活用の有無をみると以下の通り。

「活用有り」の割合は4.0%で、前述全搬送データの活用率（3.5%）よりも0.5ポイント高い。

ＭＣ圏別にみると、「東葛南部」が最も高く8.6%となっている。一方「印旛」「東部」の各ＭＣの活用率は0.0%となっている。

表Ⅵ－１－４搬送困難事案における、ＭＣ圏別・実施基準の活用区分別・搬送件数

	（件数）			（件数）			（%）
ＭＣ圏	総計	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答
ＭＣ圏全体	1,087	43	1,044	0	4.0	96.0	0.0
千葉ＭＣ	319	11	308	0	3.4	96.6	0.0
東葛南部ＭＣ	197	17	180	0	8.6	91.4	0.0
東葛湾岸ＭＣ	87	2	85	0	2.3	97.7	0.0
東葛北部ＭＣ	97	8	89	0	8.2	91.8	0.0
印旛ＭＣ	162	0	162	0	0.0	100.0	0.0
東部ＭＣ	21	0	21	0	0.0	100.0	0.0
山武長生ＭＣ	74	2	72	0	2.7	97.3	0.0
南房総ＭＣ	23	1	22	0	4.3	95.7	0.0
君津ＭＣ	77	1	76	0	1.3	98.7	0.0
市原ＭＣ	30	1	29	0	3.3	96.7	0.0

実施基準の活用の有無を消防機関別にみると以下の通り。

「我孫子」の活用率の割合が最も高く40.3%。次いで「木更津」9.6%、「長生郡市」8.4%の順。「浦安」「流山」「富里」「栄」「印西地区」「銚子」「旭」「匝瑳横芝光」「富津」「袖ケ浦」の活用率は0.0%となっている。

表Ⅵ－１－５消防機関別・実施基準の活用区分別・搬送件数

上段：（件数）、下段：（%）

二次保健医療圏	消防機関	総計	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答
全体		25,627	908	24,719	0
		100.0	3.5	96.5	0.0
千葉	千葉	3,522	122	3,400	0
		100.0	3.5	96.5	0.0
東葛南部	市川	1,833	13	1,820	0
		100.0	0.7	99.3	0.0
	船橋	2,700	224	2,476	0
		100.0	8.3	91.7	0.0
	習志野	715	2	713	0
		100.0	0.3	99.7	0.0
	八千代	731	13	718	0
		100.0	1.8	98.2	0.0
	鎌ケ谷	502	11	491	0
		100.0	2.2	97.8	0.0
	浦安	725	0	725	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
東葛北部	松戸	2,154	29	2,125	0
		100.0	1.3	98.7	0.0
	野田	746	1	745	0
		100.0	0.1	99.9	0.0
	柏	1,864	44	1,820	0
		100.0	2.4	97.6	0.0
	流山	843	0	843	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	我孫子	551	222	329	0
		100.0	40.3	59.7	0.0
印旛	成田	566	1	565	0
		100.0	0.2	99.8	0.0
	四街道	387	2	385	0
		100.0	0.5	99.5	0.0
	富里	183	0	183	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	栄	97	0	97	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	佐倉八街酒々井	1,167	13	1,154	0
		100.0	1.1	98.9	0.0
	印西地区	707	0	707	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
香取海匝	銚子	222	0	222	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	旭	211	0	211	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	匝瑳横芝光	249	0	249	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	香取広域	386	4	382	0
		100.0	1.0	99.0	0.0
山武長生夷隅	長生郡市	583	49	534	0
		100.0	8.4	91.6	0.0
	山武郡市	733	9	724	0
		100.0	1.2	98.8	0.0
	夷隅郡市	323	17	306	0
		100.0	5.3	94.7	0.0
安房	安房郡市	584	32	552	0
		100.0	5.5	94.5	0.0
君津	木更津	564	54	510	0
		100.0	9.6	90.4	0.0
	君津	347	3	344	0
		100.0	0.9	99.1	0.0
	富津	163	0	163	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
	袖ケ浦	208	0	208	0
		100.0	0.0	100.0	0.0
市原	市原	1,061	43	1,018	0
		100.0	4.1	95.9	0.0

傷病程度が中等症以上（中等症、重症、または死亡）のケースについて、消防機関別に実施基準の活用の有無をみると以下の通り。

「我孫子」の活用率の割合が最も高く 38.5%。次いで「木更津」（18.6%）、「船橋」（12.6%）、「長生郡市」（11.0%）の順。「浦安」「流山」「富里」「栄」「印西地区」「銚子」「旭」「匝瑳横芝光」「富津」「袖ケ浦」の活用率は 0.0%となっている。

表Ⅵ－１－６傷病程度が中等症、重症、または死亡における、消防機関別・実施基準の活用区分別・搬送件数

		（件数）		（件数）			（%）	
二次保健医療圏	消防機関	総計	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答
全体	全消防機関	14,616	717	13,899	0	4.9	95.1	0.0
千葉	千葉	1,579	104	1,475	0	6.6	93.4	0.0
東葛南部	市川	1,059	11	1,048	0	1.0	99.0	0.0
	船橋	1,523	192	1,331	0	12.6	87.4	0.0
	習志野	389	2	387	0	0.5	99.5	0.0
	八千代	408	12	396	0	2.9	97.1	0.0
	鎌ケ谷	349	11	338	0	3.2	96.8	0.0
	浦安	410	0	410	0	0.0	100.0	0.0
東葛北部	松戸	1,599	29	1,570	0	1.8	98.2	0.0
	野田	382	1	381	0	0.3	99.7	0.0
	柏	963	27	936	0	2.8	97.2	0.0
	流山	455	0	455	0	0.0	100.0	0.0
	我孫子	317	122	195	0	38.5	61.5	0.0
印旛	成田	335	1	334	0	0.3	99.7	0.0
	四街道	250	2	248	0	0.8	99.2	0.0
	富里	117	0	117	0	0.0	100.0	0.0
	栄	55	0	55	0	0.0	100.0	0.0
	佐倉八街酒々井	755	11	744	0	1.5	98.5	0.0
	印西地区	392	0	392	0	0.0	100.0	0.0
香取海匝	銚子	136	0	136	0	0.0	100.0	0.0
	旭	86	0	86	0	0.0	100.0	0.0
	匝瑳横芝光	128	0	128	0	0.0	100.0	0.0
	香取広域	236	4	232	0	1.7	98.3	0.0
山武長生夷隅	長生郡市	363	40	323	0	11.0	89.0	0.0
	山武郡市	435	9	426	0	2.1	97.9	0.0
	夷隅郡市	182	14	168	0	7.7	92.3	0.0
安房	安房郡市	454	32	422	0	7.0	93.0	0.0
君津	木更津	279	52	227	0	18.6	81.4	0.0
	君津	154	3	151	0	1.9	98.1	0.0
	富津	78	0	78	0	0.0	100.0	0.0
	袖ケ浦	98	0	98	0	0.0	100.0	0.0
市原	市原	650	38	612	0	5.8	94.2	0.0

Ⅵ. ２　覚知から病院収容までの時間

実施基準の活用区分をさらに傷病程度別に分類し、覚知から病院収容までの時間との関係性をみると以下の通り。

実施基準の「活用有り」についてみると、平均搬送時間が 50.60 分で「活用無し」（49.58 分）より 1.02 分長い。特に「中等症」の搬送に時間がかかり、平均で 52.89 分を要している。

表Ⅵ－２実施基準の活用区分別・傷病程度別・覚知から病院収容までの時間区分別・搬送件数

（件数）　（件数）　（分）　（分）

実施基準の活用	傷病程度	総計	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答	平均値：覚知から病院収容までの時間	中央値：覚知から病院収容までの時間
実施基準の活用計	傷病程度計	25,627	2,354	17,517	4,684	785	283	4	49.61	45
	死亡	209	55	134	14	5	1	0	40.88	37
	重症	1,743	234	1,163	275	49	22	0	47.30	43
	中等症	12,664	1,115	8,513	2,466	420	149	1	50.32	46
	軽症、その他、無回答	11,011	950	7,707	1,929	311	111	3	49.34	45
実施基準の活用有り	傷病程度計	908	85	610	169	32	12	0	50.60	45
	死亡	25	6	15	3	1	0	0	42.08	39
	重症	240	40	154	39	4	3	0	45.61	41
	中等症	452	34	298	89	24	7	0	52.89	48
	軽症、その他、無回答	191	5	143	38	3	2	0	52.58	47
実施基準の活用無し	傷病程度計	24,719	2,269	16,907	4,515	753	271	4	49.58	45
	死亡	184	49	119	11	4	1	0	40.72	37
	重症	1,503	194	1,009	236	45	19	0	47.57	43
	中等症	12,212	1,081	8,215	2,377	396	142	1	50.22	46
	軽症、その他、無回答	10,820	945	7,564	1,891	308	109	3	49.28	45
無回答	傷病程度計	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	軽症、その他、無回答	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0

（%）

実施基準の活用	傷病程度	総計	30分未満	30分～1時間未満	1時間～1時間30分未満	1時間30分～2時間未満	2時間以上	無回答
実施基準の活用計	傷病程度計	100.0	9.2	68.3	18.3	3.1	1.1	0.0
	死亡	100.0	26.3	64.1	6.7	2.4	0.5	0.0
	重症	100.0	13.4	66.7	15.8	2.8	1.3	0.0
	中等症	100.0	8.8	67.2	19.5	3.3	1.2	0.0
	軽症、その他、無回答	100.0	8.7	70.0	17.5	2.8	1.0	0.0
実施基準の活用有り	傷病程度計	100.0	9.4	67.2	18.6	3.5	1.3	0.0
	死亡	100.0	24.0	60.0	12.0	4.0	0.0	0.0
	重症	100.0	16.7	64.2	16.2	1.7	1.2	0.0
	中等症	100.0	7.5	65.9	19.7	5.3	1.6	0.0
	軽症、その他、無回答	100.0	2.6	74.9	19.9	1.6	1.0	0.0
実施基準の活用無し	傷病程度計	100.0	9.2	68.4	18.3	3.0	1.1	0.0
	死亡	100.0	26.6	64.7	6.0	2.2	0.5	0.0
	重症	100.0	12.9	67.1	15.7	3.0	1.3	0.0
	中等症	100.0	8.8	67.3	19.5	3.2	1.2	0.0
	軽症、その他、無回答	100.0	8.7	69.9	17.5	2.9	1.0	0.0
無回答	傷病程度計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	死亡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中等症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	軽症、その他、無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅵ．３　現場到着から現場出発までの時間

実施基準の活用区分をさらに傷病程度別に分類し、現場到着から出発までの時間（現場滞在時間）との関係性をみると以下の通り。

滞在時間の平均は、全体で 25.04 分。実施基準の「活用有り」では、平均滞在時間が 25.05 分で「活用無し」（25.04 分）より 0.01 分長い。特に「軽症、その他、無回答」の搬送に時間がかかり、平均で 28.71 分要している。

表Ⅵ－３－１実施基準の活用区分別・傷病程度別・現場滞在時間区分別・搬送件数

（件数）　（件数）　（分）　（分）

実施基準の活用	傷病程度	総計	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間以上	無回答	平均値：現場滞在時間	中央値：現場滞在時間
実施基準の活用計	傷病程度計	25,627	5,000	13,795	4,770	1,347	713	2	25.04	22
	死亡	209	105	86	11	4	3	0	17.34	14
	重症	1,743	587	858	206	56	36	0	21.15	18
	中等症	12,664	2,534	6,639	2,429	693	369	0	25.17	22
	軽症、その他、無回答	11,011	1,774	6,212	2,124	594	305	2	25.65	22
実施基準の活用有り	傷病程度計	908	190	476	163	49	30	0	25.05	22
	死亡	25	12	10	2	1	0	0	17.32	15
	重症	240	89	116	24	7	4	0	19.97	17
	中等症	452	74	242	88	28	20	0	26.63	24
	軽症、その他、無回答	191	15	108	49	13	6	0	28.71	24
実施基準の活用無し	傷病程度計	24,719	4,810	13,319	4,607	1,298	683	2	25.04	22
	死亡	184	93	76	9	3	3	0	17.34	14
	重症	1,503	498	742	182	49	32	0	21.33	18
	中等症	12,212	2,460	6,397	2,341	665	349	0	25.11	22
	軽症、その他、無回答	10,820	1,759	6,104	2,075	581	299	2	25.60	22
無回答	傷病程度計	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	軽症、その他、無回答	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0

（%）

実施基準の活用	傷病程度	総計	15分未満	15分～30分未満	30分～45分未満	45分～1時間未満	1時間以上	無回答
実施基準の活用計	傷病程度計	100.0	19.5	53.8	18.6	5.3	2.8	0.0
	死亡	100.0	50.2	41.2	5.3	1.9	1.4	0.0
	重症	100.0	33.7	49.2	11.8	3.2	2.1	0.0
	中等症	100.0	20.0	52.4	19.2	5.5	2.9	0.0
	軽症、その他、無回答	100.0	16.1	56.4	19.3	5.4	2.8	0.0
実施基準の活用有り	傷病程度計	100.0	20.9	52.4	18.0	5.4	3.3	0.0
	死亡	100.0	48.0	40.0	8.0	4.0	0.0	0.0
	重症	100.0	37.1	48.3	10.0	2.9	1.7	0.0
	中等症	100.0	16.4	53.5	19.5	6.2	4.4	0.0
	軽症、その他、無回答	100.0	7.9	56.5	25.7	6.8	3.1	0.0
実施基準の活用無し	傷病程度計	100.0	19.5	53.9	18.6	5.2	2.8	0.0
	死亡	100.0	50.6	41.3	4.9	1.6	1.6	0.0
	重症	100.0	33.1	49.4	12.1	3.3	2.1	0.0
	中等症	100.0	20.1	52.4	19.2	5.4	2.9	0.0
	軽症、その他、無回答	100.0	16.2	56.4	19.2	5.4	2.8	0.0
無回答	傷病程度計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	死亡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中等症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	軽症、その他、無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

傷病程度が「重症」のケースについて、ＭＣ圏をさらに実施基準活用区分別に分類し、現場での滞在時間との関係性をみると以下の通り。

平均滞在時間は、全体では 21.15 分。実施基準の「活用有り」では、平均滞在時間が 19.97 分で「活用無し」（21.33 分）より 1.36 分短い。

ＭＣ圏別にみると、「千葉」「東葛南部」は「活用有り」の平均滞在時間の方が長く、「東葛北部」は「活用無し」の方が長い。

なお、その他のＭＣ圏については、いずれも「活用有り」の該当サンプル数が少ないため割愛する。

表Ⅵ－３－２傷病程度が重症の事例における、ＭＣ圏別・実施基準の活用区分別・現場滞在時間区分別・搬送件数

		（件数）		（件数）		（%）	（分）	（分）
ＭＣ圏	実施基準の活用	総計	回答あり	無回答	回答あり	無回答	平均値：現場滞在時間	中央値：現場滞在時間
ＭＣ圏全体	実施基準の活用計	1,743	1,743	0	100.0	0.0	21.15	18
	実施基準の活用有り	240	240	0	100.0	0.0	19.97	17
	実施基準の活用無し	1,503	1,503	0	100.0	0.0	21.33	18
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
千葉ＭＣ	実施基準の活用計	119	119	0	100.0	0.0	16.85	12
	実施基準の活用有り	32	32	0	100.0	0.0	17.91	13
	実施基準の活用無し	87	87	0	100.0	0.0	16.46	12
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛南部ＭＣ	実施基準の活用計	294	294	0	100.0	0.0	23.53	20
	実施基準の活用有り	63	63	0	100.0	0.0	23.90	21
	実施基準の活用無し	231	231	0	100.0	0.0	23.42	20
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛湾岸ＭＣ	実施基準の活用計	179	179	0	100.0	0.0	20.73	18
	実施基準の活用有り	7	7	0	100.0	0.0	23.00	16
	実施基準の活用無し	172	172	0	100.0	0.0	20.64	18
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛北部ＭＣ	実施基準の活用計	450	450	0	100.0	0.0	19.79	17
	実施基準の活用有り	58	58	0	100.0	0.0	17.05	14
	実施基準の活用無し	392	392	0	100.0	0.0	20.20	17
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
印旛ＭＣ	実施基準の活用計	231	231	0	100.0	0.0	22.99	19
	実施基準の活用有り	4	4	0	100.0	0.0	22.50	23
	実施基準の活用無し	227	227	0	100.0	0.0	23.00	18
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東部ＭＣ	実施基準の活用計	80	80	0	100.0	0.0	15.71	13
	実施基準の活用有り	3	3	0	100.0	0.0	19.33	22
	実施基準の活用無し	77	77	0	100.0	0.0	15.57	12
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
山武長生ＭＣ	実施基準の活用計	133	133	0	100.0	0.0	25.56	23
	実施基準の活用有り	18	18	0	100.0	0.0	22.33	17
	実施基準の活用無し	115	115	0	100.0	0.0	26.07	23
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
南房総ＭＣ	実施基準の活用計	67	67	0	100.0	0.0	25.36	22
	実施基準の活用有り	18	18	0	100.0	0.0	18.11	17
	実施基準の活用無し	49	49	0	100.0	0.0	28.02	24
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
君津ＭＣ	実施基準の活用計	66	66	0	100.0	0.0	19.29	16
	実施基準の活用有り	14	14	0	100.0	0.0	19.14	17
	実施基準の活用無し	52	52	0	100.0	0.0	19.33	16
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
市原ＭＣ	実施基準の活用計	124	124	0	100.0	0.0	19.19	15
	実施基準の活用有り	23	23	0	100.0	0.0	18.22	16
	実施基準の活用無し	101	101	0	100.0	0.0	19.41	15
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0

傷病程度が「中等症以上（中等症・重症・死亡）」のケースについて、ＭＣ圏をさらに実施基準活用区分別に分類し、現場での滞在時間との関係性をみると以下の通り。

平均滞在時間は、全体では 24.57 分。実施基準の「活用有り」では、平均滞在時間が 24.08 分で「活用無し」（24.60 分）より 0.52 分短い。

ＭＣ圏別にみると、「千葉」「東葛南部」は「活用有り」の平均滞在時間の方が長く、「東葛北部」「山武長生」「南房総」「君津」「市原」は「活用無し」の方が長い。

その他のＭＣ圏については、いずれも「活用有り」の該当サンプル数が少ないため割愛する。

表Ⅵ－３－３傷病程度が死亡、重症、または中等症における、ＭＣ圏別・実施基準の活用別・現場滞在時間別・搬送件数

		（件数）		（件数）		（%）	（分）	（分）
ＭＣ圏	実施基準の活用	総計	回答あり	無回答	回答あり	無回答	平均値：現場滞在時間	中央値：現場滞在時間
ＭＣ圏全体	実施基準の活用計	14,616	14,616	0	100.0	0.0	24.57	21
	実施基準の活用有り	717	717	0	100.0	0.0	24.08	21
	実施基準の活用無し	13,899	13,899	0	100.0	0.0	24.60	21
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
千葉ＭＣ	実施基準の活用計	1,579	1,579	0	100.0	0.0	22.01	18
	実施基準の活用有り	104	104	0	100.0	0.0	22.50	20
	実施基準の活用無し	1,475	1,475	0	100.0	0.0	21.97	18
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛南部ＭＣ	実施基準の活用計	2,669	2,669	0	100.0	0.0	26.24	23
	実施基準の活用有り	217	217	0	100.0	0.0	27.77	25
	実施基準の活用無し	2,452	2,452	0	100.0	0.0	26.11	23
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛湾岸ＭＣ	実施基準の活用計	1,469	1,469	0	100.0	0.0	25.21	22
	実施基準の活用有り	11	11	0	100.0	0.0	26.73	24
	実施基準の活用無し	1,458	1,458	0	100.0	0.0	25.19	22
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛北部ＭＣ	実施基準の活用計	3,716	3,716	0	100.0	0.0	23.84	22
	実施基準の活用有り	179	179	0	100.0	0.0	23.25	21
	実施基準の活用無し	3,537	3,537	0	100.0	0.0	23.87	22
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
印旛ＭＣ	実施基準の活用計	1,904	1,904	0	100.0	0.0	27.39	23
	実施基準の活用有り	14	14	0	100.0	0.0	18.43	16
	実施基準の活用無し	1,890	1,890	0	100.0	0.0	27.46	23
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東部ＭＣ	実施基準の活用計	586	586	0	100.0	0.0	18.60	16
	実施基準の活用有り	4	4	0	100.0	0.0	17.00	17
	実施基準の活用無し	582	582	0	100.0	0.0	18.61	16
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
山武長生ＭＣ	実施基準の活用計	798	798	0	100.0	0.0	28.91	25
	実施基準の活用有り	49	49	0	100.0	0.0	28.04	23
	実施基準の活用無し	749	749	0	100.0	0.0	28.97	25
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
南房総ＭＣ	実施基準の活用計	636	636	0	100.0	0.0	23.45	21
	実施基準の活用有り	46	46	0	100.0	0.0	21.33	21
	実施基準の活用無し	590	590	0	100.0	0.0	23.61	21
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
君津ＭＣ	実施基準の活用計	609	609	0	100.0	0.0	22.92	19
	実施基準の活用有り	55	55	0	100.0	0.0	18.09	17
	実施基準の活用無し	554	554	0	100.0	0.0	23.40	19
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
市原ＭＣ	実施基準の活用計	650	650	0	100.0	0.0	21.20	18
	実施基準の活用有り	38	38	0	100.0	0.0	20.13	17
	実施基準の活用無し	612	612	0	100.0	0.0	21.27	18
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0

Ⅵ. ４　医療機関交渉回数

実施基準の活用区分を傷病程度別に分類し、医療機関との交渉回数についての関係性をみると以下の通り。

医療機関との平均交渉回数は、全体で 1.44 回。実施基準の「活用有り」では 1.61 回で「活用無し」（1.43 回）より 0.18 回多い。

「活用無し」については、傷病程度が重くなる程交渉回数が少なくなる傾向がみられる。

表Ⅵ－４－１実施基準の活用区分別・傷病程度別・医療機関交渉回数別・搬送件数

（件数）　（件数）　（回）　（回）

実施基準の活用	傷病程度	総計	1回	2回	3回	4回以上	無回答	平均値：医療機関交渉回数	中央値：医療機関交渉回数
実施基準の活用計	傷病程度計	25,627	19,794	3,269	1,284	1,231	49	1.44	1
	死亡	209	169	28	7	4	1	1.27	1
	重症	1,743	1,416	182	78	62	5	1.36	1
	中等症	12,664	10,033	1,433	557	617	24	1.41	1
	軽症、その他、無回答	11,011	8,176	1,626	642	548	19	1.48	1
実施基準の活用有り	傷病程度計	908	611	169	72	55	1	1.61	1
	死亡	25	21	3	0	1	0	1.32	1
	重症	240	185	30	14	11	0	1.44	1
	中等症	452	287	87	42	35	1	1.73	1
	軽症、その他、無回答	191	118	49	16	8	0	1.58	1
実施基準の活用無し	傷病程度計	24,719	19,183	3,100	1,212	1,176	48	1.43	1
	死亡	184	148	25	7	3	1	1.27	1
	重症	1,503	1,231	152	64	51	5	1.34	1
	中等症	12,212	9,746	1,346	515	582	23	1.40	1
	軽症、その他、無回答	10,820	8,058	1,577	626	540	19	1.48	1
無回答	傷病程度計	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	死亡	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	重症	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	中等症	0	0	0	0	0	0	0.00	0
	軽症、その他、無回答	0	0	0	0	0	0	0.00	0

（%）

実施基準の活用	傷病程度	総計	1回	2回	3回	4回以上	無回答
実施基準の活用計	傷病程度計	100.0	77.2	12.8	5.0	4.8	0.2
	死亡	100.0	80.9	13.4	3.3	1.9	0.5
	重症	100.0	81.2	10.4	4.5	3.6	0.3
	中等症	100.0	79.2	11.3	4.4	4.9	0.2
	軽症、その他、無回答	100.0	74.2	14.8	5.8	5.0	0.2
実施基準の活用有り	傷病程度計	100.0	67.3	18.6	7.9	6.1	0.1
	死亡	100.0	84.0	12.0	0.0	4.0	0.0
	重症	100.0	77.1	12.5	5.8	4.6	0.0
	中等症	100.0	63.5	19.3	9.3	7.7	0.2
	軽症、その他、無回答	100.0	61.8	25.6	8.4	4.2	0.0
実施基準の活用無し	傷病程度計	100.0	77.6	12.5	4.9	4.8	0.2
	死亡	100.0	80.4	13.6	3.8	1.6	0.6
	重症	100.0	81.9	10.1	4.3	3.4	0.3
	中等症	100.0	79.8	11.0	4.2	4.8	0.2
	軽症、その他、無回答	100.0	74.4	14.6	5.8	5.0	0.2
無回答	傷病程度計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	死亡	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	重症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中等症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	軽症、その他、無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

傷病程度が「重症」のケースについて、ＭＣ圏をさらに実施基準活用区分別に分類し、医療機関との交渉回数についての関係性をみると以下の通り。

交渉回数の平均は、全体では 1.36 回。「活用有り」が 1.44 回で「活用無し」（1.34 回）より 0.10 回多い。

ＭＣ圏別の平均交渉回数は、「千葉」「東葛南部」は「活用有り」の方が、「東葛北部」は「活用無し」の方がそれぞれ多い。

その他のＭＣ圏については、いずれも「活用有り」の該当サンプル数が少ないため割愛する。

表Ⅵ－４－２傷病程度が重症の事例における、ＭＣ圏別・実施基準の活用別・医療機関交渉回数別・搬送件数

		（件数）		（件数）		（%）	（回）	（回）
ＭＣ圏	実施基準の活用	総計	回答あり	無回答	回答あり	無回答	平均値：医療機関交渉回数	中央値：医療機関交渉回数
ＭＣ圏全体	実施基準の活用計	1,743	1,738	5	99.7	0.3	1.36	1
	実施基準の活用有り	240	240	0	100.0	0.0	1.44	1
	実施基準の活用無し	1,503	1,498	5	99.7	0.3	1.34	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
千葉ＭＣ	実施基準の活用計	119	119	0	100.0	0.0	1.68	1
	実施基準の活用有り	32	32	0	100.0	0.0	1.97	1
	実施基準の活用無し	87	87	0	100.0	0.0	1.57	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛南部ＭＣ	実施基準の活用計	294	294	0	100.0	0.0	1.39	1
	実施基準の活用有り	63	63	0	100.0	0.0	1.54	1
	実施基準の活用無し	231	231	0	100.0	0.0	1.35	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛湾岸ＭＣ	実施基準の活用計	179	179	0	100.0	0.0	1.31	1
	実施基準の活用有り	7	7	0	100.0	0.0	1.86	1
	実施基準の活用無し	172	172	0	100.0	0.0	1.28	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛北部ＭＣ	実施基準の活用計	450	446	4	99.1	0.9	1.25	1
	実施基準の活用有り	58	58	0	100.0	0.0	1.17	1
	実施基準の活用無し	392	388	4	99.0	1.0	1.26	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
印旛ＭＣ	実施基準の活用計	231	230	1	99.6	0.4	1.46	1
	実施基準の活用有り	4	4	0	100.0	0.0	1.75	2
	実施基準の活用無し	227	226	1	99.6	0.4	1.46	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東部ＭＣ	実施基準の活用計	80	80	0	100.0	0.0	1.23	1
	実施基準の活用有り	3	3	0	100.0	0.0	1.67	1
	実施基準の活用無し	77	77	0	100.0	0.0	1.21	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
山武長生ＭＣ	実施基準の活用計	133	133	0	100.0	0.0	1.50	1
	実施基準の活用有り	18	18	0	100.0	0.0	1.33	1
	実施基準の活用無し	115	115	0	100.0	0.0	1.52	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
南房総ＭＣ	実施基準の活用計	67	67	0	100.0	0.0	1.31	1
	実施基準の活用有り	18	18	0	100.0	0.0	1.00	1
	実施基準の活用無し	49	49	0	100.0	0.0	1.43	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
君津ＭＣ	実施基準の活用計	66	66	0	100.0	0.0	1.29	1
	実施基準の活用有り	14	14	0	100.0	0.0	1.50	1
	実施基準の活用無し	52	52	0	100.0	0.0	1.23	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
市原ＭＣ	実施基準の活用計	124	124	0	100.0	0.0	1.20	1
	実施基準の活用有り	23	23	0	100.0	0.0	1.26	1
	実施基準の活用無し	101	101	0	100.0	0.0	1.19	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0

※平均値、中央値の算出は、交渉回数の回答のないデータは除外

傷病程度が「中等症以上（中等症・重症・死亡）」のケースについて、ＭＣ圏をさらに実施基準活用区分別に分類し、医療機関との交渉回数についての関係性をみると以下の通り。

交渉回数の平均は、全体では 1.41 回。「活用有り」が 1.62 回で「活用無し」（1.39 回）より 0.23 回多い。

ＭＣ圏別の平均交渉回数は、「千葉」「東葛南部」「東葛北部」「山武長生」「市原」は「活用有り」の方が、「南房総」「君津」は「活用無し」の方がそれぞれ多い。

その他のＭＣ圏については、いずれも「活用有り」の該当サンプル数が少ないため割愛する。

表Ⅵ－４－３傷病程度が中等症以上の事例における、ＭＣ圏別・実施基準の活用区分別・搬送件数と平均交渉回数

		（件数）		（件数）		（%）	（回）	（回）
ＭＣ圏	実施基準の活用	総計	回答あり	無回答	回答あり	無回答	平均値：医療機関交渉回数	中央値：医療機関交渉回数
ＭＣ圏全体	実施基準の活用計	14,616	14,586	30	99.8	0.2	1.41	1
	実施基準の活用有り	717	716	1	99.9	0.1	1.62	1
	実施基準の活用無し	13,899	13,870	29	99.8	0.2	1.39	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
千葉ＭＣ	実施基準の活用計	1,579	1,579	0	100.0	0.0	1.81	1
	実施基準の活用有り	104	104	0	100.0	0.0	2.34	2
	実施基準の活用無し	1,475	1,475	0	100.0	0.0	1.77	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛南部ＭＣ	実施基準の活用計	2,669	2,669	0	100.0	0.0	1.42	1
	実施基準の活用有り	217	217	0	100.0	0.0	1.73	1
	実施基準の活用無し	2,452	2,452	0	100.0	0.0	1.39	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛湾岸ＭＣ	実施基準の活用計	1,469	1,469	0	100.0	0.0	1.42	1
	実施基準の活用有り	11	11	0	100.0	0.0	2.00	1
	実施基準の活用無し	1,458	1,458	0	100.0	0.0	1.41	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東葛北部ＭＣ	実施基準の活用計	3,716	3,690	26	99.3	0.7	1.21	1
	実施基準の活用有り	179	179	0	100.0	0.0	1.39	1
	実施基準の活用無し	3,537	3,511	26	99.3	0.7	1.20	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
印旛ＭＣ	実施基準の活用計	1,904	1,901	3	99.8	0.2	1.50	1
	実施基準の活用有り	14	13	1	92.9	7.1	1.38	1
	実施基準の活用無し	1,890	1,888	2	99.9	0.1	1.50	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
東部ＭＣ	実施基準の活用計	586	586	0	100.0	0.0	1.23	1
	実施基準の活用有り	4	4	0	100.0	0.0	1.50	1
	実施基準の活用無し	582	582	0	100.0	0.0	1.23	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
山武長生ＭＣ	実施基準の活用計	798	798	0	100.0	0.0	1.52	1
	実施基準の活用有り	49	49	0	100.0	0.0	1.55	1
	実施基準の活用無し	749	749	0	100.0	0.0	1.52	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
南房総ＭＣ	実施基準の活用計	636	636	0	100.0	0.0	1.25	1
	実施基準の活用有り	46	46	0	100.0	0.0	1.20	1
	実施基準の活用無し	590	590	0	100.0	0.0	1.26	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
君津ＭＣ	実施基準の活用計	609	609	0	100.0	0.0	1.44	1
	実施基準の活用有り	55	55	0	100.0	0.0	1.20	1
	実施基準の活用無し	554	554	0	100.0	0.0	1.46	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0
市原ＭＣ	実施基準の活用計	650	649	1	99.8	0.2	1.30	1
	実施基準の活用有り	38	38	0	100.0	0.0	1.32	1
	実施基準の活用無し	612	611	1	99.8	0.2	1.29	1
	無回答	0	0	0	0.0	0.0	0.00	0

※平均値、中央値の算出は、交渉回数の回答のないデータは除外

Ⅵ. ５　分類基準

実施基準の「活用有り」のケースについて、分類基準別に「中等症以上」（死亡・重症・中等症）と「その他」（軽症・その他・無回答）の搬送数との関係性をみると以下の通り。

該当サンプル数が少ない傷病（30 件未満）を除き、分類基準別に「中等症以上」の搬送件数の割合は「重篤」（99.0%）、「脳血管疾患」（94.7%）、「循環器疾患」（86.0%）が高くなっている。

表Ⅵ－５－１実施基準の活用区分ありの事例における、
分類基準別・傷病程度区分別・搬送件数

		（件数）	（件数）		（%）	
実施基準の活用	分類基準	総計	死亡・重症・中等症	軽症・その他・無回答	死亡・重症・中等症	軽症・その他・無回答
実施基準の活用有り	分類基準計	908	717	191	79.0	21.0
	重篤	96	95	1	99.0	1.0
	脳血管疾患	188	178	10	94.7	5.3
	循環器疾患	100	86	14	86.0	14.0
	消化管出血	29	28	1	96.6	3.4
	急性腹症	26	17	9	65.4	34.6
	外傷	100	60	40	60.0	40.0
	熱傷	1	1	0	100.0	0.0
	中毒	7	6	1	85.7	14.3
	入院が必要な症状	325	225	100	69.2	30.8
	妊産婦（重篤）	2	2	0	100.0	0.0
	妊産婦（重症）	0	0	0	0.0	0.0
	妊産婦（入院要）	2	2	0	100.0	0.0
	小児（重篤）	0	0	0	0.0	0.0
	小児（重症）	2	2	0	100.0	0.0
	小児（入院要）	15	6	9	40.0	60.0
	指趾切断	3	3	0	100.0	0.0
	眼球単独損傷	2	1	1	50.0	50.0
	精神科疾患	7	2	5	28.6	71.4
	無回答	3	3	0	100.0	0.0

Ⅵ．６　傷病程度が重症かつ入院した事例の転帰状況

突合した20,139件のうち、傷病程度が重症で、かつ搬送先医療機関に入院した事例1,092件について、ＭＣ圏別・実施基準の活用有無別に、転帰状況をみると以下の通り。

ＭＣ圏全体では、実施基準の活用率は2.9%。活用の有無別に「死亡」割合をみると、「活用有り」9.4%で「活用無し」14.3%と、「活用無し」のほうが4.9ポイント高い。

ＭＣ圏別では、「東葛南部」「東葛北部」「印旛」「南房総」の活用率が全体の平均を下回っている。活用有無別の「死亡」割合は、「活用有り」ではいずれも件数が30未満となっており、「千葉」（3件）・「印旛」（3件）が33.3%と最も多く、「活用無し」では「東部」が29.6%と最も多い。

表Ⅵ－６消防機関による傷病程度が重症で、搬送先医療機関に入院した事例における、ＭＣ圏別・転帰状況別・搬送件数

		（件数）	（％）	（件数）		（％）	
ＭＣ圏	実施基準の活用	総計	活用率	死亡	死亡以外	死亡	死亡以外
ＭＣ圏全体	実施基準の活用計	1,092	100.0	155	937	14.2	85.8
	実施基準の活用有り	32	2.9	3	29	9.4	90.6
	実施基準の活用無し	1,060	97.1	152	908	14.3	85.7
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
千葉ＭＣ	実施基準の活用計	66	100.0	19	47	28.8	71.2
	実施基準の活用有り	3	4.5	1	2	33.3	66.7
	実施基準の活用無し	63	95.5	18	45	28.6	71.4
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
東葛南部ＭＣ	実施基準の活用計	206	100.0	10	196	4.9	95.1
	実施基準の活用有り	5	2.4	1	4	20.0	80.0
	実施基準の活用無し	201	97.6	9	192	4.5	95.5
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
東葛湾岸ＭＣ	実施基準の活用計	102	100.0	10	92	9.8	90.2
	実施基準の活用有り	4	3.9	0	4	0.0	100.0
	実施基準の活用無し	98	96.1	10	88	10.2	89.8
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
東葛北部ＭＣ	実施基準の活用計	323	100.0	59	264	18.3	81.7
	実施基準の活用有り	8	2.5	0	8	0.0	100.0
	実施基準の活用無し	315	97.5	59	256	18.7	81.3
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
印旛ＭＣ	実施基準の活用計	130	100.0	19	111	14.6	85.4
	実施基準の活用有り	3	2.3	1	2	33.3	66.7
	実施基準の活用無し	127	97.7	18	109	14.2	85.8
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
東部ＭＣ	実施基準の活用計	54	100.0	16	38	29.6	70.4
	実施基準の活用有り	0	0.0	0	0	0.0	0.0
	実施基準の活用無し	54	100.0	16	38	29.6	70.4
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
山武長生ＭＣ	実施基準の活用計	61	100.0	6	55	9.8	90.2
	実施基準の活用有り	5	8.2	0	5	0.0	100.0
	実施基準の活用無し	56	91.8	6	50	10.7	89.3
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
南房総ＭＣ	実施基準の活用計	51	100.0	3	48	5.9	94.1
	実施基準の活用有り	1	2.0	0	1	0.0	100.0
	実施基準の活用無し	50	98.0	3	47	6.0	94.0
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
君津ＭＣ	実施基準の活用計	44	100.0	7	37	15.9	84.1
	実施基準の活用有り	3	6.8	0	3	0.0	100.0
	実施基準の活用無し	41	93.2	7	34	17.1	82.9
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0
市原ＭＣ	実施基準の活用計	55	100.0	6	49	10.9	89.1
	実施基準の活用有り	0	0.0	0	0	0.0	0.0
	実施基準の活用無し	55	100.0	6	49	10.9	89.1
	無回答	0	0.0	0	0	0.0	0.0

Ⅵ. 7　搬送先医療機関種別

実施基準を活用した908件の搬送データについて、分類基準別に搬送先医療機関区分別搬送件数をみると以下の通り。

全件数25,627件の搬送先医療機関区分別搬送件数（表Ⅰ－12－１、58頁）と比較すると、同様の傾向がみられた。

分類基準別にみると、「重篤」のケースは「救命救急センター」への搬送が81.2%で最も多く、「脳血管疾患」は「救命救急センター」と「病院群輪番制かつ救急告示」の割合がさほど変わらない。

表Ⅵ－７－１実施基準の活用区分有りの事例における、
分類基準別・搬送先医療機関区分別・搬送件数

（件数）　　（件数）

分類基準	総計	救命救急センター	救急基幹センター	病院群輪番制かつ救急告示	病院群輪番制	救急告示	その他の病院	県外及び診療所	無回答
分類基準計	908	349	21	514	6	4	9	5	0
重篤	96	78	2	16	0	0	0	0	0
脳血管疾患	188	89	7	92	0	0	0	0	0
循環器疾患	100	51	4	41	0	0	3	1	0
消化管出血	29	13	0	13	0	1	1	1	0
急性腹症	26	3	0	23	0	0	0	0	0
外傷	100	40	2	57	0	0	1	0	0
熱傷	1	1	0	0	0	0	0	0	0
中毒	7	4	0	3	0	0	0	0	0
入院が必要な症状	325	56	4	252	5	3	3	2	0
妊産婦（重篤）	2	2	0	0	0	0	0	0	0
妊産婦（重症）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
妊産婦（入院要）	2	1	0	1	0	0	0	0	0
小児（重篤）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児（重症）	2	0	0	2	0	0	0	0	0
小児（入院要）	15	3	0	11	0	0	0	1	0
指趾切断	3	3	0	0	0	0	0	0	0
眼球単独損傷	2	2	0	0	0	0	0	0	0
精神科疾患	7	1	1	3	1	0	1	0	0
無回答	3	2	1	0	0	0	0	0	0

（%）

分類基準	総計	救命救急センター	救急基幹センター	病院群輪番制かつ救急告示	病院群輪番制	救急告示	その他の病院	県外及び診療所	無回答
分類基準計	100.0	38.4	2.3	56.6	0.7	0.4	1.0	0.6	0.0
重篤	100.0	81.2	2.1	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳血管疾患	100.0	47.4	3.7	48.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
循環器疾患	100.0	51.0	4.0	41.0	0.0	0.0	3.0	1.0	0.0
消化管出血	100.0	44.8	0.0	44.8	0.0	3.5	3.5	3.4	0.0
急性腹症	100.0	11.5	0.0	88.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外傷	100.0	40.0	2.0	57.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0
熱傷	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中毒	100.0	57.1	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入院が必要な症状	100.0	17.2	1.2	77.6	1.6	0.9	0.9	0.6	0.0
妊産婦（重篤）	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
妊産婦（重症）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
妊産婦（入院要）	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児（重篤）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児（重症）	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児（入院要）	100.0	20.0	0.0	73.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0
指趾切断	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
眼球単独損傷	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科疾患	100.0	14.3	14.3	42.8	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
無回答	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

実施基準を活用し、かつ傷病程度が中等症以上（死亡、重症または中等症）の事例について、分類基準別に搬送先医療機関区分別搬送件数をみると以下の通り。

該当サンプル数が少ない傷病（30 件未満）及び「入院が必要な症状」を除き、分類基準別にみると、「重篤」「脳血管疾患」「循環器疾患」「外傷」など、「救命救急センター」への搬送が最も多くなっている。

表Ⅵ－７－２実施基準の活用あり、かつ傷病程度が死亡、重症、または中等症の事例における、分類基準別・搬送先医療機関区分別・搬送件数

（件数）　　（件数）

分類基準	総計	救命救急センター	救急基幹センター	病院群輪番制かつ救急告示	病院群輪番制	救急告示	その他の病院	県外及び診療所	無回答
分類基準計	717	333	16	349	5	3	7	4	0
重篤	95	78	2	15	0	0	0	0	0
脳血管疾患	178	88	7	83	0	0	0	0	0
循環器疾患	86	49	3	30	0	0	3	1	0
消化管出血	28	13	0	12	0	1	1	1	0
急性腹症	17	3	0	14	0	0	0	0	0
外傷	60	34	2	23	0	0	1	0	0
熱傷	1	1	0	0	0	0	0	0	0
中毒	6	4	0	2	0	0	0	0	0
入院が必要な症状	225	52	1	161	5	2	2	2	0
妊産婦（重篤）	2	2	0	0	0	0	0	0	0
妊産婦（重症）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
妊産婦（入院要）	2	1	0	1	0	0	0	0	0
小児（重篤）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児（重症）	2	0	0	2	0	0	0	0	0
小児（入院要）	6	1	0	5	0	0	0	0	0
指趾切断	3	3	0	0	0	0	0	0	0
眼球単独損傷	1	1	0	0	0	0	0	0	0
精神科疾患	2	1	0	1	0	0	0	0	0
無回答	3	2	1	0	0	0	0	0	0

（%）

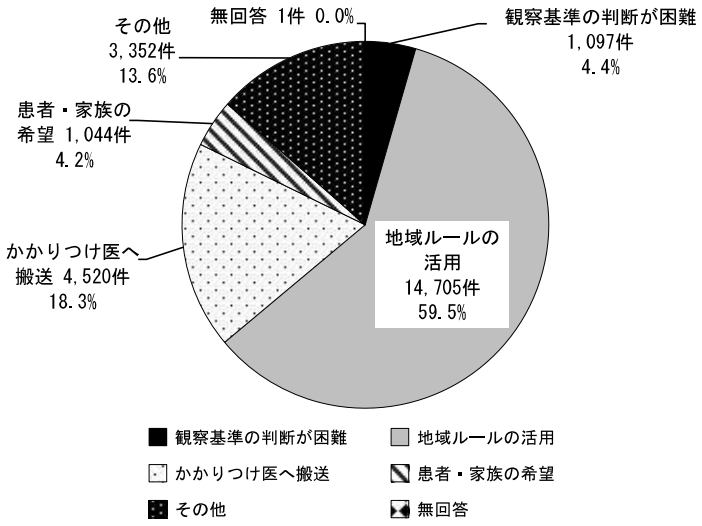
分類基準	総計	救命救急センター	救急基幹センター	病院群輪番制かつ救急告示	病院群輪番制	救急告示	その他の病院	県外及び診療所	無回答
分類基準計	100.0	46.4	2.2	48.7	0.7	0.4	1.0	0.6	0.0
重篤	100.0	82.1	2.1	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳血管疾患	100.0	49.5	3.9	46.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
循環器疾患	100.0	57.0	3.5	34.9	0.0	0.0	3.5	1.1	0.0
消化管出血	100.0	46.4	0.0	42.8	0.0	3.6	3.6	3.6	0.0
急性腹症	100.0	17.6	0.0	82.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外傷	100.0	56.7	3.3	38.3	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
熱傷	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中毒	100.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
入院が必要な症状	100.0	23.1	0.4	71.6	2.2	0.9	0.9	0.9	0.0
妊産婦（重篤）	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
妊産婦（重症）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
妊産婦（入院要）	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児（重篤）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児（重症）	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小児（入院要）	100.0	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指趾切断	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
眼球単独損傷	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神科疾患	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅵ. ８　実施基準を活用しなかった理由

実施基準の活用無し（無回答は除外）の事例 24,719 件について、実施基準を活用しなかった理由をみると以下の通り。なお、傷病程度の分類に際し「中等症以上（死亡・重症・中等症）」と「軽症等（軽症・その他・無回答）」の 2 区分とした。

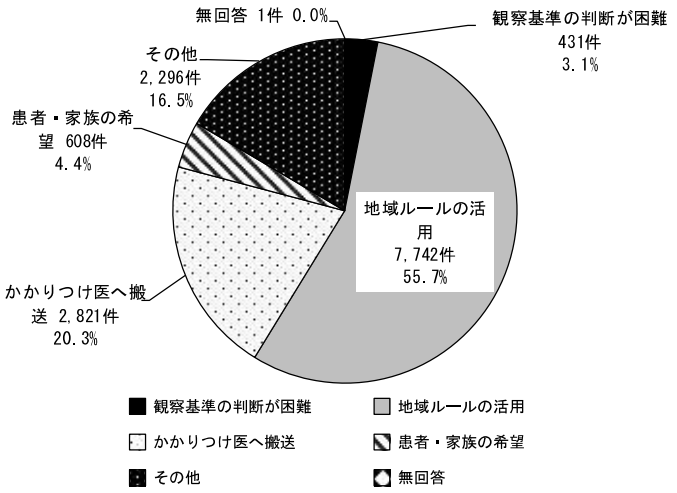
全体では、「地域ルールの活用」が 59.5%と最も多い。次いで「かかりつけ医へ搬送」18.3%、「観察基準の判断が困難」4.4%、「患者・家族の希望」4.2%の順となっている。

図Ⅵ－８－１実施基準を活用しなかった理由



傷病程度が「中等症以上（死亡・重症・中等症）」の患者のケースについてみると、全体とほぼ同様の傾向である。

図Ⅵ－８－２中等症以上の患者に対して実施基準を活用しなかった理由



ＭＣ圏別・傷病程度別の、実施基準を活用しなかった理由について、「中等症以上」についてみると、「東葛湾岸」「印旛」「東部」「山武長生」「南房総」「君津」などの各ＭＣでは「地域ルールの活用」の回答割合がＭＣ全体より約 10%～30%近く多い。また「東葛南部」での「観察基準の判断が困難」の割合（16.1%）は各ＭＣの中で唯一、ＭＣ全体より多い。

表Ⅵ－８－３実施基準の活用無しの事例における、ＭＣ圏別・傷病程度別・基準の活用をしなかった理由別・搬送件数

（件数）　　（件数）

ＭＣ圏	傷病程度	総計	観察基準の判断が困難	地域ルールの活用	かかりつけ医へ搬送	患者・家族の希望	その他	無回答
ＭＣ圏全体	傷病程度計	24,719	1,097	14,705	4,520	1,044	3,352	1
	中等症以上	13,899	431	7,742	2,821	608	2,296	1
	軽症等	10,820	666	6,963	1,699	436	1,056	0
千葉ＭＣ	傷病程度計	3,400	9	1,824	676	138	752	1
	中等症以上	1,475	5	638	300	67	464	1
	軽症等	1,925	4	1,186	376	71	288	0
東葛南部ＭＣ	傷病程度計	4,398	996	1,053	896	294	1,159	0
	中等症以上	2,452	395	541	595	170	751	0
	軽症等	1,946	601	512	301	124	408	0
東葛湾岸ＭＣ	傷病程度計	2,545	9	2,063	284	51	138	0
	中等症以上	1,458	4	1,119	186	30	119	0
	軽症等	1,087	5	944	98	21	19	0
東葛北部ＭＣ	傷病程度計	5,862	69	3,345	1,350	393	705	0
	中等症以上	3,537	21	1,865	900	245	506	0
	軽症等	2,325	48	1,480	450	148	199	0
印旛ＭＣ	傷病程度計	3,091	1	2,403	501	42	144	0
	中等症以上	1,890	0	1,401	336	27	126	0
	軽症等	1,201	1	1,002	165	15	18	0
東部ＭＣ	傷病程度計	1,064	0	928	88	15	33	0
	中等症以上	582	0	498	51	6	27	0
	軽症等	482	0	430	37	9	6	0
山武長生ＭＣ	傷病程度計	1,258	5	999	135	35	84	0
	中等症以上	749	0	556	97	25	71	0
	軽症等	509	5	443	38	10	13	0
南房総ＭＣ	傷病程度計	858	4	674	110	22	48	0
	中等症以上	590	4	448	84	15	39	0
	軽症等	268	0	226	26	7	9	0
君津ＭＣ	傷病程度計	1,225	0	848	229	18	130	0
	中等症以上	554	0	368	116	5	65	0
	軽症等	671	0	480	113	13	65	0
市原ＭＣ	傷病程度計	1,018	4	568	251	36	159	0
	中等症以上	612	2	308	156	18	128	0
	軽症等	406	2	260	95	18	31	0

（%）

ＭＣ圏	傷病程度	総計	観察基準の判断が困難	地域ルールの活用	かかりつけ医へ搬送	患者・家族の希望	その他	無回答
ＭＣ圏全体	傷病程度計	100.0	4.4	59.5	18.3	4.2	13.6	0.0
	中等症以上	100.0	3.1	55.7	20.3	4.4	16.5	0.0
	軽症等	100.0	6.2	64.3	15.7	4.0	9.8	0.0
千葉ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.3	53.6	19.9	4.1	22.1	0.0
	中等症以上	100.0	0.3	43.3	20.3	4.5	31.5	0.1
	軽症等	100.0	0.2	61.6	19.5	3.7	15.0	0.0
東葛南部ＭＣ	傷病程度計	100.0	22.6	23.9	20.4	6.7	26.4	0.0
	中等症以上	100.0	16.1	22.1	24.3	6.9	30.6	0.0
	軽症等	100.0	30.9	26.3	15.5	6.4	20.9	0.0
東葛湾岸ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.3	81.1	11.2	2.0	5.4	0.0
	中等症以上	100.0	0.3	76.7	12.7	2.1	8.2	0.0
	軽症等	100.0	0.5	86.8	9.0	1.9	1.8	0.0
東葛北部ＭＣ	傷病程度計	100.0	1.2	57.1	23.0	6.7	12.0	0.0
	中等症以上	100.0	0.6	52.7	25.5	6.9	14.3	0.0
	軽症等	100.0	2.1	63.6	19.3	6.4	8.6	0.0
印旛ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.0	77.7	16.2	1.4	4.7	0.0
	中等症以上	100.0	0.0	74.1	17.8	1.4	6.7	0.0
	軽症等	100.0	0.1	83.4	13.7	1.3	1.5	0.0
東部ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.0	87.2	8.3	1.4	3.1	0.0
	中等症以上	100.0	0.0	85.6	8.8	1.0	4.6	0.0
	軽症等	100.0	0.0	89.2	7.7	1.9	1.2	0.0
山武長生ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.4	79.4	10.7	2.8	6.7	0.0
	中等症以上	100.0	0.0	74.2	13.0	3.3	9.5	0.0
	軽症等	100.0	1.0	87.0	7.5	2.0	2.5	0.0
南房総ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.5	78.5	12.8	2.6	5.6	0.0
	中等症以上	100.0	0.7	75.9	14.2	2.6	6.6	0.0
	軽症等	100.0	0.0	84.3	9.7	2.6	3.4	0.0
君津ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.0	69.2	18.7	1.5	10.6	0.0
	中等症以上	100.0	0.0	66.4	21.0	0.9	11.7	0.0
	軽症等	100.0	0.0	71.5	16.9	1.9	9.7	0.0
市原ＭＣ	傷病程度計	100.0	0.4	55.8	24.7	3.5	15.6	0.0
	中等症以上	100.0	0.3	50.3	25.5	3.0	20.9	0.0
	軽症等	100.0	0.5	64.1	23.4	4.4	7.6	0.0

消防機関別・傷病程度別の、実施基準を活用しなかった理由についてみると以下の通り。

「中等症以上」についてみると、「浦安」「旭」「匝瑳横芝光」「袖ケ浦」は、「地域ルールの活用」の回答割合が消防機関全体より 30%以上多い。

また「我孫子」は「かかりつけ医へ搬送」、「鎌ケ谷」は「患者・家族の希望」の割合が他の理由と比べ最も多い。「船橋」は「観察基準の判断が困難」の回答割合が他の消防機関を圧して多い。

表Ⅵ－８－４実施基準の活用無しの事例における、消防機関別・傷病程度別・基準の活用をしなかった理由別・搬送件数

（件数）　（件数）

二次保健医療圏	消防機関	傷病程度	総計	観察基準の判断が困難	地域ルールの活用	かかりつけ医へ搬送	患者・家族の希望	その他	無回答
二次保健医療圏全体　全消防機関		傷病程度計	24,719	1,097	14,705	4,520	1,044	3,352	1
		中等症以上	13,899	431	7,742	2,821	608	2,296	1
		軽症等	10,820	666	6,963	1,699	436	1,056	0
千葉	千葉	傷病程度計	3,400	9	1,824	676	138	752	1
		中等症以上	1,475	5	638	300	67	464	1
		軽症等	1,925	4	1,186	376	71	288	0
東葛南部	市川	傷病程度計	1,820	6	1,387	259	45	123	0
		中等症以上	1,048	2	738	172	28	108	0
		軽症等	772	4	649	87	17	15	0
	船橋	傷病程度計	2,476	995	0	574	162	745	0
		中等症以上	1,331	395	0	399	86	451	0
		軽症等	1,145	600	0	175	76	294	0
	習志野	傷病程度計	713	0	510	111	11	81	0
		中等症以上	387	0	251	65	3	68	0
		軽症等	326	0	259	46	8	13	0
	八千代	傷病程度計	718	1	480	119	11	107	0
		中等症以上	396	0	256	66	7	67	0
		軽症等	322	1	224	53	4	40	0
	鎌ケ谷	傷病程度計	491	0	63	92	110	226	0
		中等症以上	338	0	34	65	74	165	0
		軽症等	153	0	29	27	36	61	0
	浦安	傷病程度計	725	3	676	25	6	15	0
		中等症以上	410	2	381	14	2	11	0
		軽症等	315	1	295	11	4	4	0
東葛北部	松戸	傷病程度計	2,125	1	1,022	506	215	381	0
		中等症以上	1,570	1	750	390	155	274	0
		軽症等	555	0	272	116	60	107	0
	野田	傷病程度計	745	0	603	81	2	59	0
		中等症以上	381	0	289	41	0	51	0
		軽症等	364	0	314	40	2	8	0
	柏	傷病程度計	1,820	60	1,196	401	85	78	0
		中等症以上	936	18	568	232	45	73	0
		軽症等	884	42	628	169	40	5	0
	流山	傷病程度計	843	0	479	215	17	132	0
		中等症以上	455	0	247	137	12	59	0
		軽症等	388	0	232	78	5	73	0
	我孫子	傷病程度計	329	8	45	147	74	55	0
		中等症以上	195	2	11	100	33	49	0
		軽症等	134	6	34	47	41	6	0

（件数）　　（件数）

二次保健医療圏	消防機関	傷病程度	総計	観察基準の判断が困難	地域ルールの活用	かかりつけ医へ搬送	患者・家族の希望	その他	無回答
印旛	成田	傷病程度計	565	1	445	87	5	27	0
		中等症以上	334	0	251	58	1	24	0
		軽症等	231	1	194	29	4	3	0
	四街道	傷病程度計	385	0	264	75	12	34	0
		中等症以上	248	0	159	50	8	31	0
		軽症等	137	0	105	25	4	3	0
	富里	傷病程度計	183	0	148	27	1	7	0
		中等症以上	117	0	91	19	1	6	0
		軽症等	66	0	57	8	0	1	0
	栄	傷病程度計	97	0	51	41	1	4	0
		中等症以上	55	0	28	24	0	3	0
		軽症等	42	0	23	17	1	1	0
	佐倉八街酒々井	傷病程度計	1,154	0	888	191	21	54	0
		中等症以上	744	0	555	128	15	46	0
		軽症等	410	0	333	63	6	8	0
	印西地区	傷病程度計	707	0	607	80	2	18	0
		中等症以上	392	0	317	57	2	16	0
		軽症等	315	0	290	23	0	2	0
香取海匝	銚子	傷病程度計	222	0	162	50	10	0	0
		中等症以上	136	0	102	28	6	0	0
		軽症等	86	0	60	22	4	0	0
	旭	傷病程度計	211	0	211	0	0	0	0
		中等症以上	86	0	86	0	0	0	0
		軽症等	125	0	125	0	0	0	0
	匝瑳横芝光	傷病程度計	249	0	244	2	2	1	0
		中等症以上	128	0	126	1	0	1	0
		軽症等	121	0	118	1	2	0	0
	香取広域	傷病程度計	382	0	311	36	3	32	0
		中等症以上	232	0	184	22	0	26	0
		軽症等	150	0	127	14	3	6	0
山武長生夷隅	長生郡市	傷病程度計	534	5	371	77	28	53	0
		中等症以上	323	0	199	54	20	50	0
		軽症等	211	5	172	23	8	3	0
	山武郡市	傷病程度計	724	0	628	58	7	31	0
		中等症以上	426	0	357	43	5	21	0
		軽症等	298	0	271	15	2	10	0
	夷隅郡市	傷病程度計	306	0	202	56	19	29	0
		中等症以上	168	0	97	39	12	20	0
		軽症等	138	0	105	17	7	9	0
安房	安房郡市	傷病程度計	552	4	472	54	3	19	0
		中等症以上	422	4	351	45	3	19	0
		軽症等	130	0	121	9	0	0	0
君津	木更津	傷病程度計	510	0	372	70	12	56	0
		中等症以上	227	0	152	39	3	33	0
		軽症等	283	0	220	31	9	23	0
	君津	傷病程度計	344	0	180	87	5	72	0
		中等症以上	151	0	78	42	1	30	0
		軽症等	193	0	102	45	4	42	0
	富津	傷病程度計	163	0	113	47	1	2	0
		中等症以上	78	0	54	21	1	2	0
		軽症等	85	0	59	26	0	0	0
	袖ケ浦	傷病程度計	208	0	183	25	0	0	0
		中等症以上	98	0	84	14	0	0	0
		軽症等	110	0	99	11	0	0	0
市原	市原	傷病程度計	1,018	4	568	251	36	159	0
		中等症以上	612	2	308	156	18	128	0
		軽症等	406	2	260	95	18	31	0

（%）

二次保健医療圏	消防機関	傷病程度	総計	観察基準の判断が困難	地域ルールの活用	かかりつけ医へ搬送	患者・家族の希望	その他	無回答
二次保健医療圏全体	全消防機関	傷病程度計	100.0	4.4	59.5	18.3	4.2	13.6	0.0
		中等症以上	100.0	3.1	55.7	20.3	4.4	16.5	0.0
		軽症等	100.0	6.2	64.3	15.7	4.0	9.8	0.0
千葉	千葉	傷病程度計	100.0	0.3	53.6	19.9	4.1	22.1	0.0
		中等症以上	100.0	0.3	43.3	20.3	4.5	31.5	0.1
		軽症等	100.0	0.2	61.6	19.5	3.7	15.0	0.0
東葛南部	市川	傷病程度計	100.0	0.3	76.2	14.2	2.5	6.8	0.0
		中等症以上	100.0	0.2	70.4	16.4	2.7	10.3	0.0
		軽症等	100.0	0.5	84.1	11.3	2.2	1.9	0.0
	船橋	傷病程度計	100.0	40.2	0.0	23.2	6.5	30.1	0.0
		中等症以上	100.0	29.7	0.0	30.0	6.4	33.9	0.0
		軽症等	100.0	52.4	0.0	15.3	6.6	25.7	0.0
	習志野	傷病程度計	100.0	0.0	71.5	15.6	1.5	11.4	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	64.8	16.8	0.8	17.6	0.0
		軽症等	100.0	0.0	79.4	14.1	2.5	4.0	0.0
	八千代	傷病程度計	100.0	0.1	66.9	16.6	1.5	14.9	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	64.6	16.7	1.8	16.9	0.0
		軽症等	100.0	0.3	69.6	16.5	1.2	12.4	0.0
	鎌ケ谷	傷病程度計	100.0	0.0	12.8	18.8	22.4	46.0	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	10.1	19.2	21.9	48.8	0.0
		軽症等	100.0	0.0	19.0	17.6	23.5	39.9	0.0
	浦安	傷病程度計	100.0	0.4	93.2	3.5	0.8	2.1	0.0
		中等症以上	100.0	0.5	92.9	3.4	0.5	2.7	0.0
		軽症等	100.0	0.3	93.6	3.5	1.3	1.3	0.0
東葛北部	松戸	傷病程度計	100.0	0.1	48.1	23.8	10.1	17.9	0.0
		中等症以上	100.0	0.1	47.8	24.8	9.9	17.4	0.0
		軽症等	100.0	0.0	49.0	20.9	10.8	19.3	0.0
	野田	傷病程度計	100.0	0.0	80.9	10.9	0.3	7.9	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	75.8	10.8	0.0	13.4	0.0
		軽症等	100.0	0.0	86.3	11.0	0.5	2.2	0.0
	柏	傷病程度計	100.0	3.3	65.7	22.0	4.7	4.3	0.0
		中等症以上	100.0	1.9	60.7	24.8	4.8	7.8	0.0
		軽症等	100.0	4.8	71.0	19.1	4.5	0.6	0.0
	流山	傷病程度計	100.0	0.0	56.8	25.5	2.0	15.7	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	54.3	30.1	2.6	13.0	0.0
		軽症等	100.0	0.0	59.8	20.1	1.3	18.8	0.0
	我孫子	傷病程度計	100.0	2.4	13.7	44.7	22.5	16.7	0.0
		中等症以上	100.0	1.0	5.7	51.3	16.9	25.1	0.0
		軽症等	100.0	4.5	25.3	35.1	30.6	4.5	0.0

（%）

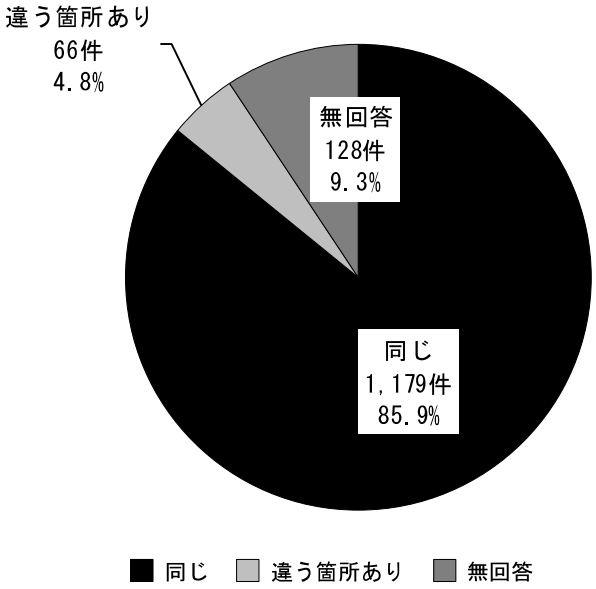
二次保健医療圏	消防機関	傷病程度	総計	観察基準の判断が困難	地域ルールの活用	かかりつけ医へ搬送	患者・家族の希望	その他	無回答
印旛	成田	傷病程度計	100.0	0.2	78.7	15.4	0.9	4.8	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	75.1	17.4	0.3	7.2	0.0
		軽症等	100.0	0.4	84.0	12.6	1.7	1.3	0.0
	四街道	傷病程度計	100.0	0.0	68.6	19.5	3.1	8.8	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	64.1	20.2	3.2	12.5	0.0
		軽症等	100.0	0.0	76.6	18.3	2.9	2.2	0.0
	富里	傷病程度計	100.0	0.0	80.9	14.8	0.5	3.8	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	77.8	16.2	0.9	5.1	0.0
		軽症等	100.0	0.0	86.4	12.1	0.0	1.5	0.0
	栄	傷病程度計	100.0	0.0	52.6	42.3	1.0	4.1	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	50.9	43.6	0.0	5.5	0.0
		軽症等	100.0	0.0	54.7	40.5	2.4	2.4	0.0
	佐倉八街酒々井	傷病程度計	100.0	0.0	76.9	16.6	1.8	4.7	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	74.6	17.2	2.0	6.2	0.0
		軽症等	100.0	0.0	81.2	15.4	1.5	1.9	0.0
	印西地区	傷病程度計	100.0	0.0	85.9	11.3	0.3	2.5	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	80.9	14.5	0.5	4.1	0.0
		軽症等	100.0	0.0	92.1	7.3	0.0	0.6	0.0
香取海匝	銚子	傷病程度計	100.0	0.0	73.0	22.5	4.5	0.0	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	75.0	20.6	4.4	0.0	0.0
		軽症等	100.0	0.0	69.8	25.6	4.6	0.0	0.0
	旭	傷病程度計	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		軽症等	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	匝瑳横芝光	傷病程度計	100.0	0.0	98.0	0.8	0.8	0.4	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	98.4	0.8	0.0	0.8	0.0
		軽症等	100.0	0.0	97.5	0.8	1.7	0.0	0.0
	香取広域	傷病程度計	100.0	0.0	81.4	9.4	0.8	8.4	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	79.3	9.5	0.0	11.2	0.0
		軽症等	100.0	0.0	84.7	9.3	2.0	4.0	0.0
山武長生夷隅	長生郡市	傷病程度計	100.0	0.9	69.5	14.4	5.3	9.9	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	61.6	16.7	6.2	15.5	0.0
		軽症等	100.0	2.4	81.5	10.9	3.8	1.4	0.0
	山武郡市	傷病程度計	100.0	0.0	86.7	8.0	1.0	4.3	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	83.8	10.1	1.2	4.9	0.0
		軽症等	100.0	0.0	90.9	5.0	0.7	3.4	0.0
	夷隅郡市	傷病程度計	100.0	0.0	66.0	18.3	6.2	9.5	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	57.7	23.2	7.2	11.9	0.0
		軽症等	100.0	0.0	76.1	12.3	5.1	6.5	0.0
安房	安房郡市	傷病程度計	100.0	0.7	85.5	9.8	0.6	3.4	0.0
		中等症以上	100.0	0.9	83.2	10.7	0.7	4.5	0.0
		軽症等	100.0	0.0	93.1	6.9	0.0	0.0	0.0
君津	木更津	傷病程度計	100.0	0.0	72.9	13.7	2.4	11.0	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	67.0	17.2	1.3	14.5	0.0
		軽症等	100.0	0.0	77.7	11.0	3.2	8.1	0.0
	君津	傷病程度計	100.0	0.0	52.3	25.3	1.5	20.9	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	51.6	27.8	0.7	19.9	0.0
		軽症等	100.0	0.0	52.8	23.3	2.1	21.8	0.0
	富津	傷病程度計	100.0	0.0	69.3	28.9	0.6	1.2	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	69.2	26.9	1.3	2.6	0.0
		軽症等	100.0	0.0	69.4	30.6	0.0	0.0	0.0
	袖ケ浦	傷病程度計	100.0	0.0	88.0	12.0	0.0	0.0	0.0
		中等症以上	100.0	0.0	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
		軽症等	100.0	0.0	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
市原	市原	傷病程度計	100.0	0.4	55.8	24.7	3.5	15.6	0.0
		中等症以上	100.0	0.3	50.3	25.5	3.0	20.9	0.0
		軽症等	100.0	0.5	64.1	23.4	4.4	7.6	0.0

Ⅵ．９　実施基準との整合性

消防機関の搬送データから、傷病程度が「重症」の患者 1,743 件中、実施基準を活用しなかった 1,503 件のうち、実施基準を活用しなかった理由として「地域ルールの活用」又は「その他」と答えた 1,373 件について、ＭＣ圏別・実施基準との整合性別（観察から搬送先選定までの結果が実施基準の内容と同じである）・搬送件数をみると以下の通り。全体では、「同じ」が 85.9％となった。

図Ⅵ－９－１実施基準との整合性

（重症、かつ「地域ルールの活用」または「その他」の理由により実施基準を活用しなかった事例）



ＭＣ圏別にみると、「東部」「山武長生」「市原」「印旛」「東葛湾岸」「東葛南部」でともに「同じ」が９割を超えて高く、「東葛北部」が 62.6％（無回答 33.1％）で最も低い。

表Ⅵ－９－２消防機関による傷病程度が死亡または重症、かつ実施基準の活用無しの事例における、ＭＣ圏別・基準を活用しなかった理由区分別・実施基準との整合性別・搬送件数

	（件数）				（件数）		（%）
ＭＣ圏	総計	同じ	違う箇所あり	無回答	同じ	違う箇所あり	無回答
ＭＣ圏全体	1,373	1,179	66	128	85.9	4.8	9.3
千葉ＭＣ	84	70	7	7	83.3	8.3	8.4
東葛南部ＭＣ	173	159	6	8	91.9	3.5	4.6
東葛湾岸ＭＣ	176	162	9	5	92.1	5.1	2.8
東葛北部ＭＣ	326	204	14	108	62.6	4.3	33.1
印旛ＭＣ	213	199	14	0	93.4	6.6	0.0
東部ＭＣ	91	91	0	0	100.0	0.0	0.0
山武長生ＭＣ	112	110	2	0	98.2	1.8	0.0
南房総ＭＣ	39	35	4	0	89.7	10.3	0.0
君津ＭＣ	58	52	6	0	89.7	10.3	0.0
市原ＭＣ	101	97	4	0	96.0	4.0	0.0

以下は、消防機関別にみた実施基準との整合性別・搬送件数である。

表Ⅵ－９－３消防機関別・実施基準との整合性別・搬送件数

（重症、かつ「地域ルールの活用」または「その他」の理由により実施基準を活用しなかった事例）

		（件数）				（件数）		（%）
二次保健医療圏	消防機関	総計	同じ	違う箇所あり	無回答	同じ	違う箇所あり	無回答
全体	全消防機関	1,373	1,179	66	128	85.9	4.8	9.3
千葉	千葉	84	70	7	7	83.3	8.3	8.4
東葛南部	市川	127	121	6	0	95.3	4.7	0.0
	船橋	56	56	0	0	100.0	0.0	0.0
	習志野	62	61	1	0	98.4	1.6	0.0
	八千代	34	31	2	1	91.2	5.9	2.9
	鎌ケ谷	21	11	3	7	52.4	14.3	33.3
	浦安	49	41	3	5	83.7	6.1	10.2
東葛北部	松戸	101	89	12	0	88.1	11.9	0.0
	野田	64	62	2	0	96.9	3.1	0.0
	柏	108	0	0	108	0.0	0.0	100.0
	流山	46	46	0	0	100.0	0.0	0.0
	我孫子	7	7	0	0	100.0	0.0	0.0
印旛	成田	27	27	0	0	100.0	0.0	0.0
	四街道	28	27	1	0	96.4	3.6	0.0
	富里	17	17	0	0	100.0	0.0	0.0
	栄	5	5	0	0	100.0	0.0	0.0
	佐倉八街酒々井	83	82	1	0	98.8	1.2	0.0
	印西地区	53	41	12	0	77.4	22.6	0.0
香取海匝	銚子	23	23	0	0	100.0	0.0	0.0
	旭	11	11	0	0	100.0	0.0	0.0
	匝瑳横芝光	27	27	0	0	100.0	0.0	0.0
	香取広域	30	30	0	0	100.0	0.0	0.0
山武長生夷隅	長生郡市	50	48	2	0	96.0	4.0	0.0
	山武郡市	62	62	0	0	100.0	0.0	0.0
	夷隅郡市	36	32	4	0	88.9	11.1	0.0
安房	安房郡市	3	3	0	0	100.0	0.0	0.0
君津	木更津	24	24	0	0	100.0	0.0	0.0
	君津	13	11	2	0	84.6	15.4	0.0
	富津	6	6	0	0	100.0	0.0	0.0
	袖ケ浦	15	11	4	0	73.3	26.7	0.0
市原	市原	101	97	4	0	96.0	4.0	0.0

Ⅵ. 10　中等症・重症患者の分類基準別病院への搬送状況

転院搬送ではない「中等症または重症」の搬送者が、分類基準に応じた分類基準別病院への搬送状況をみると以下の通り。

まず、事故種別区分から転院搬送案件か否かを分類し、傷病程度別・実施基準の活用状況を確認した。

転院搬送ではない場合の「中等症または重症」についてみると、実施基準の「活用あり」と回答したのは5.4%であった。

表Ⅵ－10－１転院搬送区分別・傷病程度別・実施基準の活用区分別・搬送件数

		（件数）				（件数）		（%）
転院搬送	傷病程度	総計	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答	実施基準の活用有り	実施基準の活用無し	無回答
全体	傷病程度計	25,627	908	24,719	0	3.5	96.5	0.0
	死亡	209	25	184	0	12.0	88.0	0.0
	中等症または重症	14,407	692	13,715	0	4.8	95.2	0.0
	軽症	11,008	191	10,817	0	1.7	98.3	0.0
	その他または無回答	3	0	3	0	0.0	100.0	0.0
転院搬送ではない	傷病程度計	23,673	897	22,776	0	3.8	96.2	0.0
	死亡	207	25	182	0	12.1	87.9	0.0
	中等症または重症	12,572	682	11,890	0	5.4	94.6	0.0
	軽症	10,891	190	10,701	0	1.7	98.3	0.0
	その他または無回答	3	0	3	0	0.0	100.0	0.0
転院搬送である	傷病程度計	1,954	11	1,943	0	0.6	99.4	0.0
	死亡	2	0	2	0	0.0	100.0	0.0
	中等症または重症	1,835	10	1,825	0	0.5	99.5	0.0
	軽症	117	1	116	0	0.9	99.1	0.0
	その他または無回答	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0

実施基準の「活用有り」のケースは、分類基準病院に搬送されたと判断することができる。実施基準の「活用無し」では、消防隊の判断傷病名Ａの傷病名と分類基準名称を対応し、分類基準別病名リスト内の病院に搬送されたか否かを判断する。

このように対応付けをして、「中等症または重症」における分類基準別病院への搬送状況をみると以下の通り。（表Ⅵ－10－２　289 頁）

「分類基準別医療機関に搬送」された割合をみると、1,366 件（9.5%）となる。「実施基準の活用あり」と合わせると 2,058 件（14.3%）が「分類基準の医療機関」に搬送されている計算になる。該当サンプル数が少ない傷病（30 件未満）を除くと、「高エネルギー外傷」「脳血管疾患」「循環器疾患」「新型コロナウイルス」「窒息・異物誤飲（誤嚥）」「内分泌・代謝性疾患」「消化器疾患」「泌尿器疾患」「急性薬物中毒」「筋骨格疾患」「呼吸器疾患」「その他の内因性疾患」の 10%以上が「分類基準の医療機関」に搬送されている。

表Ⅵ－10－２傷病程度が中等症または重症患者の分類基準別病院への搬送状況

（件数）　　（件数）

救急隊による判断傷病名Ａ	総計	実施基準の活用有り	分類基準別医療機関に搬送	分類基準別医療機関以外に搬送	対象外	活用有り＋分類基準に搬送
総計	14,407	692	1,366	12,253	96	2,058
呼吸器疾患	1,427	44	144	1,239	0	188
循環器疾患	1,428	104	191	1,133	0	295
消化器疾患	1,690	60	204	1,426	0	264
脳血管疾患	1,338	183	173	982	0	356
泌尿器疾患	311	3	41	267	0	44
産婦人科疾患	148	4	9	135	0	13
筋骨格疾患	245	4	29	212	0	33
精神科疾患	98	2	2	94	0	4
内分泌・代謝性疾患	216	13	21	182	0	34
その他の内因性疾患	2,531	70	248	2,213	0	318
その他の特殊疾患	51	0	5	46	0	5
高エネルギー外傷	125	18	19	88	0	37
穿通性外傷	5	1	1	3	0	2
指趾切断・不全断裂	21	6	2	13	0	8
（単純な）切創･挫創等	416	11	19	386	0	30
（単純な）打撲等	959	24	45	890	0	69
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	1,084	31	45	1,008	0	76
広範囲熱傷	1	0	1	0	0	1
気道熱傷	7	0	2	5	0	2
上記以外の熱傷	14	1	0	13	0	1
電撃傷	0	0	0	0	0	0
急性薬物中毒	78	7	4	67	0	11
急性アルコール中毒	41	2	2	37	0	4
一酸化炭素中毒	9	0	1	8	0	1
（何らかの）ガス中毒	1	0	0	1	0	0
原因不明の中毒	9	1	2	6	0	3
熱中症	9	3	2	4	0	5
偶発性低体温	12	1	0	11	0	1
窒息・異物誤飲（誤嚥）	49	4	4	41	0	8
溺水	7	2	1	4	0	3
縊頚	7	1	1	5	0	2
新型コロナウイルス	71	0	12	59	0	12
その他	1,317	69	95	1,151	2	164
不明	581	16	41	524	0	57
無回答	101	7	0	0	94	7

（%）

救急隊による判断傷病名Ａ	総計	実施基準の活用有り	分類基準別医療機関に搬送	分類基準別医療機関以外に搬送	対象外	活用有り＋分類基準に搬送
総計	100.0	4.8	9.5	85.0	0.7	14.3
呼吸器疾患	100.0	3.1	10.1	86.8	0.0	13.2
循環器疾患	100.0	7.3	13.4	79.3	0.0	20.7
消化器疾患	100.0	3.5	12.1	84.4	0.0	15.6
脳血管疾患	100.0	13.7	12.9	73.4	0.0	26.6
泌尿器疾患	100.0	1.0	13.2	85.8	0.0	14.2
産婦人科疾患	100.0	2.7	6.1	91.2	0.0	8.8
筋骨格疾患	100.0	1.6	11.9	86.5	0.0	13.5
精神科疾患	100.0	2.1	2.0	95.9	0.0	4.1
内分泌・代謝性疾患	100.0	6.0	9.7	84.3	0.0	15.7
その他の内因性疾患	100.0	2.8	9.8	87.4	0.0	12.6
その他の特殊疾患	100.0	0.0	9.8	90.2	0.0	9.8
高エネルギー外傷	100.0	14.4	15.2	70.4	0.0	29.6
穿通性外傷	100.0	20.0	20.0	60.0	0.0	40.0
指趾切断・不全断裂	100.0	28.6	9.5	61.9	0.0	38.1
（単純な）切創･挫創等	100.0	2.6	4.6	92.8	0.0	7.2
（単純な）打撲等	100.0	2.5	4.7	92.8	0.0	7.2
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	100.0	2.9	4.1	93.0	0.0	7.0
広範囲熱傷	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
気道熱傷	100.0	0.0	28.6	71.4	0.0	28.6
上記以外の熱傷	100.0	7.1	0.0	92.9	0.0	7.1
電撃傷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
急性薬物中毒	100.0	9.0	5.1	85.9	0.0	14.1
急性アルコール中毒	100.0	4.9	4.9	90.2	0.0	9.8
一酸化炭素中毒	100.0	0.0	11.1	88.9	0.0	11.1
（何らかの）ガス中毒	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
原因不明の中毒	100.0	11.1	22.2	66.7	0.0	33.3
熱中症	100.0	33.3	22.2	44.5	0.0	55.5
偶発性低体温	100.0	8.3	0.0	91.7	0.0	8.3
窒息・異物誤飲（誤嚥）	100.0	8.1	8.2	83.7	0.0	16.3
溺水	100.0	28.6	14.3	57.1	0.0	42.9
縊頚	100.0	14.3	14.3	71.4	0.0	28.6
新型コロナウイルス	100.0	0.0	16.9	83.1	0.0	16.9
その他	100.0	5.2	7.2	87.4	0.2	12.4
不明	100.0	2.7	7.1	90.2	0.0	9.8
無回答	100.0	6.9	0.0	0.0	93.1	6.9

「中等症」患者の、分類基準別病院への搬送状況は以下の通り。

表Ⅵ－10－３傷病程度が中等症患者の分類基準別病院への搬送状況

（件数）　　（件数）

救急隊による判断傷病名Ａ	総計	実施基準の活用有り	分類基準別医療機関に搬送	分類基準別医療機関以外に搬送	対象外	活用有り＋分類基準に搬送
総計	12,664	452	1,150	10,976	86	1,602
呼吸器疾患	1,297	39	128	1,130	0	167
循環器疾患	1,074	56	125	893	0	181
消化器疾患	1,572	47	185	1,340	0	232
脳血管疾患	1,018	115	134	769	0	249
泌尿器疾患	294	2	36	256	0	38
産婦人科疾患	137	4	8	125	0	12
筋骨格疾患	232	3	25	204	0	28
精神科疾患	89	1	2	86	0	3
内分泌・代謝性疾患	199	9	19	171	0	28
その他の内因性疾患	2,333	46	225	2,062	0	271
その他の特殊疾患	44	0	4	40	0	4
高エネルギー外傷	81	8	9	64	0	17
穿通性外傷	4	0	1	3	0	1
指趾切断・不全断裂	15	3	2	10	0	5
（単純な）切創･挫創等	397	8	17	372	0	25
（単純な）打撲等	915	24	44	847	0	68
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	971	27	38	906	0	65
広範囲熱傷	1	0	1	0	0	1
気道熱傷	3	0	0	3	0	0
上記以外の熱傷	13	0	0	13	0	0
電撃傷	0	0	0	0	0	0
急性薬物中毒	68	5	4	59	0	9
急性アルコール中毒	41	2	2	37	0	4
一酸化炭素中毒	5	0	0	5	0	0
（何らかの）ガス中毒	0	0	0	0	0	0
原因不明の中毒	8	0	2	6	0	2
熱中症	9	3	2	4	0	5
偶発性低体温	7	0	0	7	0	0
窒息・異物誤飲（誤嚥）	34	0	3	31	0	3
溺水	1	0	0	1	0	0
縊頚	4	0	1	3	0	1
新型コロナウイルス	67	0	12	55	0	12
その他	1,123	31	86	1,004	2	117
不明	518	13	35	470	0	48
無回答	90	6	0	0	84	6

（%）

救急隊による判断傷病名Ａ	総計	実施基準の活用有り	分類基準別医療機関に搬送	分類基準別医療機関以外に搬送	対象外	活用有り＋分類基準に搬送
総計	100.0	3.5	9.1	86.7	0.7	12.6
呼吸器疾患	100.0	3.0	9.9	87.1	0.0	12.9
循環器疾患	100.0	5.2	11.6	83.2	0.0	16.8
消化器疾患	100.0	3.0	11.8	85.2	0.0	14.8
脳血管疾患	100.0	11.3	13.2	75.5	0.0	24.5
泌尿器疾患	100.0	0.7	12.2	87.1	0.0	12.9
産婦人科疾患	100.0	2.9	5.8	91.3	0.0	8.7
筋骨格疾患	100.0	1.3	10.8	87.9	0.0	12.1
精神科疾患	100.0	1.1	2.3	96.6	0.0	3.4
内分泌・代謝性疾患	100.0	4.5	9.6	85.9	0.0	14.1
その他の内因性疾患	100.0	2.0	9.6	88.4	0.0	11.6
その他の特殊疾患	100.0	0.0	9.1	90.9	0.0	9.1
高エネルギー外傷	100.0	9.9	11.1	79.0	0.0	21.0
穿通性外傷	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
指趾切断・不全断裂	100.0	20.0	13.3	66.7	0.0	33.3
（単純な）切創･挫創等	100.0	2.0	4.3	93.7	0.0	6.3
（単純な）打撲等	100.0	2.6	4.8	92.6	0.0	7.4
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	100.0	2.8	3.9	93.3	0.0	6.7
広範囲熱傷	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
気道熱傷	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
上記以外の熱傷	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
電撃傷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
急性薬物中毒	100.0	7.3	5.9	86.8	0.0	13.2
急性アルコール中毒	100.0	4.9	4.9	90.2	0.0	9.8
一酸化炭素中毒	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
（何らかの）ガス中毒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原因不明の中毒	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
熱中症	100.0	33.3	22.2	44.5	0.0	55.5
偶発性低体温	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
窒息・異物誤飲（誤嚥）	100.0	0.0	8.8	91.2	0.0	8.8
溺水	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
縊頚	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
新型コロナウイルス	100.0	0.0	17.9	82.1	0.0	17.9
その他	100.0	2.8	7.6	89.4	0.2	10.4
不明	100.0	2.5	6.8	90.7	0.0	9.3
無回答	100.0	6.7	0.0	0.0	93.3	6.7

「重症」患者の、分類基準別病院への搬送状況は以下の通り。

表Ⅵ－10－４傷病程度が重症患者の分類基準別病院への搬送状況

（件数）　　（件数）

救急隊による判断傷病名Ａ	総計	実施基準の活用有り	分類基準別医療機関に搬送	分類基準別医療機関以外に搬送	対象外	活用有り＋分類基準に搬送
総計	1,743	240	216	1,277	10	456
呼吸器疾患	130	5	16	109	0	21
循環器疾患	354	48	66	240	0	114
消化器疾患	118	13	19	86	0	32
脳血管疾患	320	68	39	213	0	107
泌尿器疾患	17	1	5	11	0	6
産婦人科疾患	11	0	1	10	0	1
筋骨格疾患	13	1	4	8	0	5
精神科疾患	9	1	0	8	0	1
内分泌・代謝性疾患	17	4	2	11	0	6
その他の内因性疾患	198	24	23	151	0	47
その他の特殊疾患	7	0	1	6	0	1
高エネルギー外傷	44	10	10	24	0	20
穿通性外傷	1	1	0	0	0	1
指趾切断・不全断裂	6	3	0	3	0	3
（単純な）切創･挫創等	19	3	2	14	0	5
（単純な）打撲等	44	0	1	43	0	1
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	113	4	7	102	0	11
広範囲熱傷	0	0	0	0	0	0
気道熱傷	4	0	2	2	0	2
上記以外の熱傷	1	1	0	0	0	1
電撃傷	0	0	0	0	0	0
急性薬物中毒	10	2	0	8	0	2
急性アルコール中毒	0	0	0	0	0	0
一酸化炭素中毒	4	0	1	3	0	1
（何らかの）ガス中毒	1	0	0	1	0	0
原因不明の中毒	1	1	0	0	0	1
熱中症	0	0	0	0	0	0
偶発性低体温	5	1	0	4	0	1
窒息・異物誤飲（誤嚥）	15	4	1	10	0	5
溺水	6	2	1	3	0	3
縊頚	3	1	0	2	0	1
新型コロナウイルス	4	0	0	4	0	0
その他	194	38	9	147	0	47
不明	63	3	6	54	0	9
無回答	11	1	0	0	10	1

（%）

救急隊による判断傷病名Ａ	総計	実施基準の活用有り	分類基準別医療機関に搬送	分類基準別医療機関以外に搬送	対象外	活用有り＋分類基準に搬送
総計	100.0	13.8	12.4	73.2	0.6	26.2
呼吸器疾患	100.0	3.9	12.3	83.8	0.0	16.2
循環器疾患	100.0	13.6	18.6	67.8	0.0	32.2
消化器疾患	100.0	11.0	16.1	72.9	0.0	27.1
脳血管疾患	100.0	21.2	12.2	66.6	0.0	33.4
泌尿器疾患	100.0	5.9	29.4	64.7	0.0	35.3
産婦人科疾患	100.0	0.0	9.1	90.9	0.0	9.1
筋骨格疾患	100.0	7.7	30.8	61.5	0.0	38.5
精神科疾患	100.0	11.1	0.0	88.9	0.0	11.1
内分泌・代謝性疾患	100.0	23.5	11.8	64.7	0.0	35.3
その他の内因性疾患	100.0	12.1	11.6	76.3	0.0	23.7
その他の特殊疾患	100.0	0.0	14.3	85.7	0.0	14.3
高エネルギー外傷	100.0	22.7	22.7	54.6	0.0	45.4
穿通性外傷	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
指趾切断・不全断裂	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
（単純な）切創･挫創等	100.0	15.8	10.5	73.7	0.0	26.3
（単純な）打撲等	100.0	0.0	2.3	97.7	0.0	2.3
（単純な）捻挫・脱臼・骨折	100.0	3.5	6.2	90.3	0.0	9.7
広範囲熱傷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気道熱傷	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
上記以外の熱傷	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
電撃傷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
急性薬物中毒	100.0	20.0	0.0	80.0	0.0	20.0
急性アルコール中毒	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化炭素中毒	100.0	0.0	25.0	75.0	0.0	25.0
（何らかの）ガス中毒	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
原因不明の中毒	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
熱中症	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
偶発性低体温	100.0	20.0	0.0	80.0	0.0	20.0
窒息・異物誤飲（誤嚥）	100.0	26.7	6.6	66.7	0.0	33.3
溺水	100.0	33.3	16.7	50.0	0.0	50.0
縊頚	100.0	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3
新型コロナウイルス	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
その他	100.0	19.6	4.6	75.8	0.0	24.2
不明	100.0	4.8	9.5	85.7	0.0	14.3
無回答	100.0	9.1	0.0	0.0	90.9	9.1

調査実施要領・調査票

１．調査実施要領

令和７年度救急搬送実態調査　実施要領≪消防機関用≫

１　調査目的

消防機関が有する搬送に関する情報と、医療機関が有する救急搬送後の傷病者の転帰情報等をあわせて総合的に調査・分析することにより、県内救急搬送の実態を把握するとともに、「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」（以下「実施基準」という。）の見直しに向けての基礎データとして活用する。

２　調査対象・期間

対象：県内全消防機関（３１機関）

期間：**令和７年 10 月１日～10 月 31 日（１箇月間）に発生した全ての救急搬送事案**

３　調査方法

エクセルファイル「様式（消防用）.xls」の「様式１～２」への入力による。

（１）様式１

調査項目等は下記のとおり

調査項目	留意事項
1 発生年月日	記入式【2025/○/○】
2 覚知時刻（入電時刻）	選択式【○：○】※24 時間表記
3 現場到着時刻	選択式【○：○】※24 時間表記
4 現場出発時刻	選択式【○：○】※24 時間表記
5 病院収容時刻	選択式【○：○】※24 時間表記
6 年齢	選択式【実年齢不明の場合は、推定年齢を記入】
7 性別	選択式【男／女】
8 事故種別	選択式 【火災/自然災害/水難/交通事故/労働災害/運動競技/一般負傷/加害/自損行為/急病/転院搬送/その他】
9 傷病程度	選択式【死亡/重症/中等症/軽症/不明・その他】

10 実施基準の活用		選択式【有り／無し】 **※今回の調査における活用有とは、観察基準を参考とし、かつ医療機関リストに該当する搬送先の選定を行った事案を指すが、最終的な受入先が、医療機関リストに掲載されている病院であるかは問わない。**
11 基準を活用しなかった理由 ※10 で「無」の場合のみ回答		選択式 【観察基準の判断が困難/地域ルールの活用/かかりつけ医へ搬送/患者・家族の希望/その他】
11-2 実施基準との整合性		選択式【同じ／違う箇所あり】 **※傷病程度が重症以上で、「10 実施基準の活用：無し」かつ「11 基準を活用しなかった理由：2 地域ルールの活用又は 5 その他」を選択した場合に、観察から搬送先選定までの結果が実施基準の内容と同じであった場合は、「同じ」を選択すること。**
12 適用した観察基準 ※10 で「有」の場合のみ回答		選択式【観察基準コードから選択】
13 分類基準 ※10 で「有」の場合のみ回答		選択式【分類基準から選択】
傷病名	14 原因	選択式【外因性/内因性/不明】
	15 症状	選択式【疾患分類コードから選択】
	16 救急隊による判断傷病名Ａ	選択式【疾患分類コードから選択】 **※救急隊が現場で疑った判断傷病名を選択すること。（分からない場合は「不明」を選択）**
	17 救急隊による判断傷病名Ｂ	選択式【疾患分類コードから選択】 **※「16 救急隊による判断傷病名Ａ」よりも更に具体的な病名・外傷部位等が分かる場合に選択すること。（分からない場合は「不明」を選択）**
	18 心肺停止	選択式【有り／無し】
19 患者背景因子		選択式 【特になし/精神/飲酒/薬物/自殺企図/認知症/住所不定/身寄りなし（独居）/過去に問題あり/その他】 ※その他の場合は備考欄に具体的に記載し、**複数該当する場合は、患者受入に影響すると思われる主たる背景因子を一つ選択すること。**
20 ドクターヘリ要請		選択式【有り／無し】

21 医療機関交渉回数		記入式【○回】
22 収容先医療機関名		選択式【医療機関コードから選択】 **※最初に収容した医療機関を選択すること。**
転送事案	23 転送先医療機関名	選択式【医療機関コードから選択】 **※最終的に収容した医療機関を選択すること。**
	24 転送理由	選択式 【手術中・患者対応中/満床/処置困難/専門外/医師不在/応急処置目的の立寄り/初診(かかりつけ医なし)/下り搬送/理由不明その他】
転院搬送事案	25 転院搬送元医療機関名	選択式【医療機関コードから選択】
	26 転院理由	選択式 【容態悪化/専門外/満床/容態安定/理由不明その他】
27 隣接市町村への応援		選択式【有り／無し】
28 その他（自由記載欄）		その他特記事項等があれば記載すること。

〈留意事項〉

・調査票様式（エクセルファイル）は、「ちば救急医療ネット」で関係者ログイン後、トップページの「お知らせ」へ掲載しておきますので、各自ダウンロードして活用してください。
　ちば救急医療ネット：http://www.qq.pref.chiba.lg.jp/

・調査票様式中、色付のセルは数式が入っていますので、入力、削除等をしないでください。（白色セルのみ入力してください。）

・調査票様式は、適宜行を追加して入力してください。なお、行を追加する際は、最初と最後の行に挿入しないでください。（数式がコピーされない可能性があります。）

・実施基準活用事案の記録用に、「実施基準検証用記録票」を作成しましたので、必要に応じて本調査に御活用ください。

・本調査に当たっては、原則として、エクセルファイルへの入力による提出を依頼しますが、電子データの入力が困難であり、「実施基準検証用記録票」の項目（項目番号１０～１９）について、「実施基準検証用記録票」による提出を希望する場合は、事前に千葉県防災危機管理部消防課担当者まで相談くださるようお願いします。

（２）様式２

調査期間中における、実施基準運用面での課題等について回答してください。

４　提出方法

（１）提出方法

電子メールに調査票様式（エクセルファイル）を添付し、下記提出先アドレスまで提出願います。

〈提出先〉委託先事業者：株式会社ＣＣＮグループ

メールアドレス：　**kkh2025@ccn-g.co.jp**

※データ容量が大きくなる場合には、データの圧縮・分割の必要があります。
※委託先事業者への提出を希望されない場合は、県担当に御連絡の上、県担当者アドレスに御送付ください。

（２）提出期限

令和７年１１月２６日（水）

５　調査結果の取扱い

本調査により収集したデータ（以下「個別データ」という。）の取扱いについては、調査の実施機関である千葉県防災危機管理部消防課、千葉県健康福祉部医療整備課において、以下のとおり十分注意することとします。

（１）収集目的について

個別データの収集は、円滑な救急患者の搬送・収容体制の構築に向けた検討を行うための現状分析を目的として、その目的を達成するために必要な範囲内で行うこととし、個人情報の取得にならないよう留意します。

（２）個別データの管理

実施機関の長（消防課長、医療整備課長）は個別データ管理者及び取扱者を定め、下記事項を遵守することとする。

① 個別データをみだりに他に知らせてはならない。事業終了後においても同様とする。
② 個別データについて、漏洩、滅失及び毀損の防止その他情報の適切な管理のために必要な措置を講ずる。複写については、特に適切な管理に留意する。
③ 実施機関の長が承諾した場合を除き、調査に関する個別データの庁外持出を禁止する。

（３）調査結果の集計・公表について

① 原則として、個別データに係る医療機関名は公表しないこととします。なお、公表する場合は、事前に関係機関と調整のうえ行います。
② 必要書類の発送、個別データの回収及び集計等の業務を外部委託します。
また、収集する個別データは千葉県個人情報保護条例に規定される「個人情報」には該当しませんが、委託に当たっては、県で定めた「個人情報取扱特記事項」を委託業者に遵守させます。
③ **調査結果については、とりまとめ次第、御協力いただいた消防機関及び医療機関に報告する予定です。**
④ **調査結果については、県が施策の検討や会議等で使用する場合があります。**

令和７年度救急搬送実態調査　実施要領≪医療機関用≫

１　調査目的

消防機関が有する搬送に関する情報と、医療機関が有する救急搬送後の傷病者の転帰情報等をあわせて総合的に調査・分析することにより、県内救急搬送の実態を把握するとともに、「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の見直しに向けての基礎データとして活用する。

２　調査対象・期間

対象：県内二次救急以上の医療機関及び実施基準掲載医療機関（１６８機関）

期間：**令和７年 10 月 1 日～10 月 31 日（1 箇月間）に受け入れた全ての救急搬送事案**

※救急車及びドクターヘリにて搬送された患者のみを対象とし、**救急外来を自力受診した患者は含まない。**

３　調査方法

エクセルファイル「様式（医療機関用）.xls」の「様式１～２」への入力による。

（１）様式１

調査項目等は下記のとおり

調査項目	備考
1 受入年月日	記入式【2025/〇/〇】
2 患者受入時間	選択式【〇：〇】24 時間表記 **※受入時間とは、救急隊から患者を引き継いだ時間とする。**
3 来院方法	選択式 【ドクターヘリ/救急車(現場直送)/救急車(転送)】 **※自力受診の患者は含めない**
4 搬送消防機関名	選択式【県内３１消防機関、東京都、埼玉県、茨城県、その他】
5 搬送元医療機関名	選択式【医療機関コードから選択】 **※他医療機関からの転送の場合のみ入力**
6 年齢	選択式【実年齢不明の場合は、推定年齢を記入】
7 性別	選択式【男／女】

8 住所		記入式【市区町村名のみを記載】 ※患者の現住所を入力（分からない場合は「不明」とすること）
9 傷病程度		選択式【死亡/重症/中等症/軽症/その他】 「死亡」　：初診時において死亡が確認されたもの 「重症」　：3週間以上の入院加療を必要とする 「中等症」：重症又は軽症以外のもの 「軽症」　：入院加療を必要としないもの 「不明・その他」：不明・傷病程度が判明しないもの
10 緊急性の有無		選択式【有り／無し】
11 確定診断名		記入式【具体的な確定診断名を記載】
12 患者背景因子		選択式 【特になし/精神/飲酒/薬物/自殺企図/認知症/住所不定/身寄りなし（独居）/過去に問題あり/その他】 ※その他の場合は備考欄に具体的に記載し、**複数該当する場合は、主たる背景因子を一つ選択すること。**
13 施設選定の妥当性		選択式【妥当である/妥当でない】 ※妥当でない場合は理由を記載
14 入院の有無等		選択式【外来のみ/入院/他医療機関への転送】
15 入院時の病床		選択式【ICU/HCU/一般病床/その他】 **※14で「入院」と回答した場合のみ回答**
16 ２４時間以内に行った処置		選択式 【人工補助呼吸/血液浄化/心臓カテーテル/補助循環/内視鏡/IVR/t-PA/手術/その他】 **※14で「入院」と回答した場合のみ回答**
17 転帰		選択式【入院中/退院/転院/死亡】 **※14で「入院」と回答した場合のみ回答** **※受入から24時間後の患者の転帰を選択**
転送事案	18 転送理由	選択式 【手術中・患者対応中/満床/処置困難/専門外/医師不在/応急処置目的の立寄り/初診(かかりつけ医なし)/下り搬送/理由不明・その他】
	19 転送先医療機関名	選択式【医療機関コードから選択】
	20 医療機関交渉回数	選択式【○回】

〈留意事項〉

・調査票様式（エクセルファイル）は、「ちば救急医療ネット」で関係者ログイン後、トップページの「お知らせ」へ掲載いたしますので、ダウンロードして活用してください。

ちば救急医療ネット：http://www.qq.pref.chiba.lg.jp/

・調査票様式中、色付のセルは数式が入っていますので、入力、削除等をしないでください。（白色セルのみ入力してください。）

・調査票様式は、適宜行を追加して入力してください。なお、行を追加する際は、最初と最後の行に挿入しないでください。（数式がコピーされない可能性があります。）

（２）様式２

調査期間中における、実施基準運用面での課題等について、本様式にて回答してください。

４　提出方法

（１）提出方法

電子メールに調査票様式（エクセルファイル）を添付し、下記提出先アドレスまで提出願います。

〈提出先〉委託先事業者：株式会社ＣＣＮグループ

メールアドレス：　**kkh2025@ccn-g.co.jp**

※データ容量が大きくなる場合には、データの圧縮・分割の必要があります。
※委託先事業者への提出を希望されない場合は、県担当に御連絡の上、県担当者アドレスに御送付ください。

（２）提出期限

令和７年１１月２６日（水）

５　調査結果の取扱い

本調査により収集したデータ（以下「個別データ」という。）の取扱いについては、調査の実施機関である千葉県防災危機管理部消防課、千葉県健康福祉部医療整備課において、以下のとおり十分注意することとします。

（１）収集目的について

個別データの収集は、円滑な救急患者の搬送・収容体制の構築に向けた検討を行うための現状分析を目的として、その目的を達成するために必要な範囲内で行うこととし、個人情報の取得にならないよう留意します。

（２）個別データの管理

実施機関の長（消防課長、医療整備課長）は個別データ管理者及び取扱者を定め、下記事項を遵守することとする。

① 個別データをみだりに他に知らせてはならない。事業終了後においても同様とする。

② 個別データについて、漏洩、滅失及び毀損の防止その他情報の適切な管理のために必要な措置を講ずる。複写については、特に適切な管理に留意する。

③ 実施機関の長が承諾した場合を除き、調査に関する個別データの庁外持出を禁止する。

（３）調査結果の集計・公表について

① 原則として、個別データに係る医療機関名は公表しないこととします。なお、公表する場合は、事前に関係機関と調整のうえ行います。

② 必要書類の発送、個別データの回収及び集計等の業務を外部委託します。
また、収集する個別データは千葉県個人情報保護条例に規定される「個人情報」には該当しませんが、委託に当たっては、県で定めた「個人情報取扱特記事項」を委託業者に遵守させます。

③ **調査結果については、とりまとめ次第、御協力いただいた消防機関及び医療機関に報告する予定です。**

④ **調査結果については、県が施策の検討や会議等で使用する場合があります。**

令和７年度救急搬送実態調査　実施要領≪夜急診用≫

１　調査目的

消防機関が有する搬送に関する情報と、医療機関が有する救急搬送後の傷病者の転帰情報等をあわせて総合的に調査･分析することにより、県内救急搬送の実態を把握する。

２　調査対象・期間

対象：県内夜間休日急病診療所（２１機関）※歯科は除く

期間：**令和７年 10 月 1 日～10 月 31 日（1 箇月間）に他の医療機関に転送した全事例**

３　調査方法

エクセルファイル「様式（夜急診用）.xls」の「入力様式」への入力による。

調査項目	備考
1 発生年月日	記入式【2025/〇/〇】
2 患者受入時間	選択式【〇：〇】
3 来院方法	選択式 【救急車/自家用車(タクシー)/徒歩/その他/不明】
4 年齢	選択式【実年齢不明の場合は、推定年齢を記入】
5 性別	選択式【男／女】
6 住所	記入式【市区町村名を記載】 ※患者の現住所を入力（分からない場合は「不明」とすること）
7 傷病程度	選択式【死亡/重症/中等症/軽症/その他】 「死亡」　：初診時において死亡が確認されたもの 「重症」　：3 週間以上の入院加療を必要とする 「中等症」：重症又は軽症以外のもの 「軽症」　：入院加療を必要としないもの 「不明・その他」：不明・傷病程度が判明しないもの
8 診断名（暫定）	記入式【具体的な診断名を記載】
9 転送理由	選択式 【病状/患者の希望/必要な検査ができない/その他】

10 転送先医療機関名	選択式【医療機関コードから選択】
11 転送先が二次輪番病院か	選択式 【○／×】 ※×の場合はその理由を「二次輪番病院以外に転送した理由欄」に記載
12 医療機関交渉回数	記入式【○回】

〈留意事項〉

・調査票様式（エクセルファイル）は、「ちば救急医療ネット」で関係者ログイン後、トップページの「お知らせ」へ掲載いたしますので、ダウンロードして活用してください。

ちば救急医療ネット：http://www.qq.pref.chiba.lg.jp/

・調査票様式中、色付のセルは数式が入っていますので、入力、削除等をしないでください。（白色セルのみ入力してください。）

・調査票様式は、適宜行を追加して入力してください。なお、行を追加する際は、最初と最後の行に挿入しないでください。（数式がコピーされない可能性があります。）

４　提出方法

（１）提出方法

電子メールに調査票様式（エクセルファイル）を添付し、下記提出先アドレスまで提出願います。

〈提出先〉委託先事業者：株式会社ＣＣＮグループ

メールアドレス：　**kkh2025@ccn-g.co.jp**

※データ容量が大きくなる場合には、データの圧縮・分割の必要があります。
※委託先事業者への提出を希望されない場合は、県担当に御連絡の上、県担当者アドレスに御送付ください。

（２）提出期限

令和７年１１月２６日（水）

５　調査結果の取扱い

本調査により収集したデータ（以下「個別データ」という。）の取扱いについては、調査の実施機関である千葉県防災危機管理部消防課、千葉県健康福祉部医療整備課において、以下のとおり十分注意することとします。

（１）収集目的について

個別データの収集は、円滑な救急患者の搬送・収容体制の構築に向けた検討を行うための現状分析を目的として、その目的を達成するために必要な範囲内で行うこととし、個人情報の取得にならないよう留意します。

（２）個別データの管理

実施機関の長（消防課長、医療整備課長）は個別データ管理者及び取扱者を定め、下記事項を遵守することとする。

① 個別データをみだりに他に知らせてはならない。事業終了後においても同様とする。

② 個別データについて、漏洩、滅失及び毀損の防止その他情報の適切な管理のために必要な措置を講ずる。複写については、特に適切な管理に留意する。

③ 実施機関の長が承諾した場合を除き、調査に関する個別データの庁外持出を禁止する。

（３）調査結果の集計・公表について

① 原則として、個別データに係る医療機関名は公表しないこととします。なお、公表する場合は、事前に関係機関と調整のうえ行います。

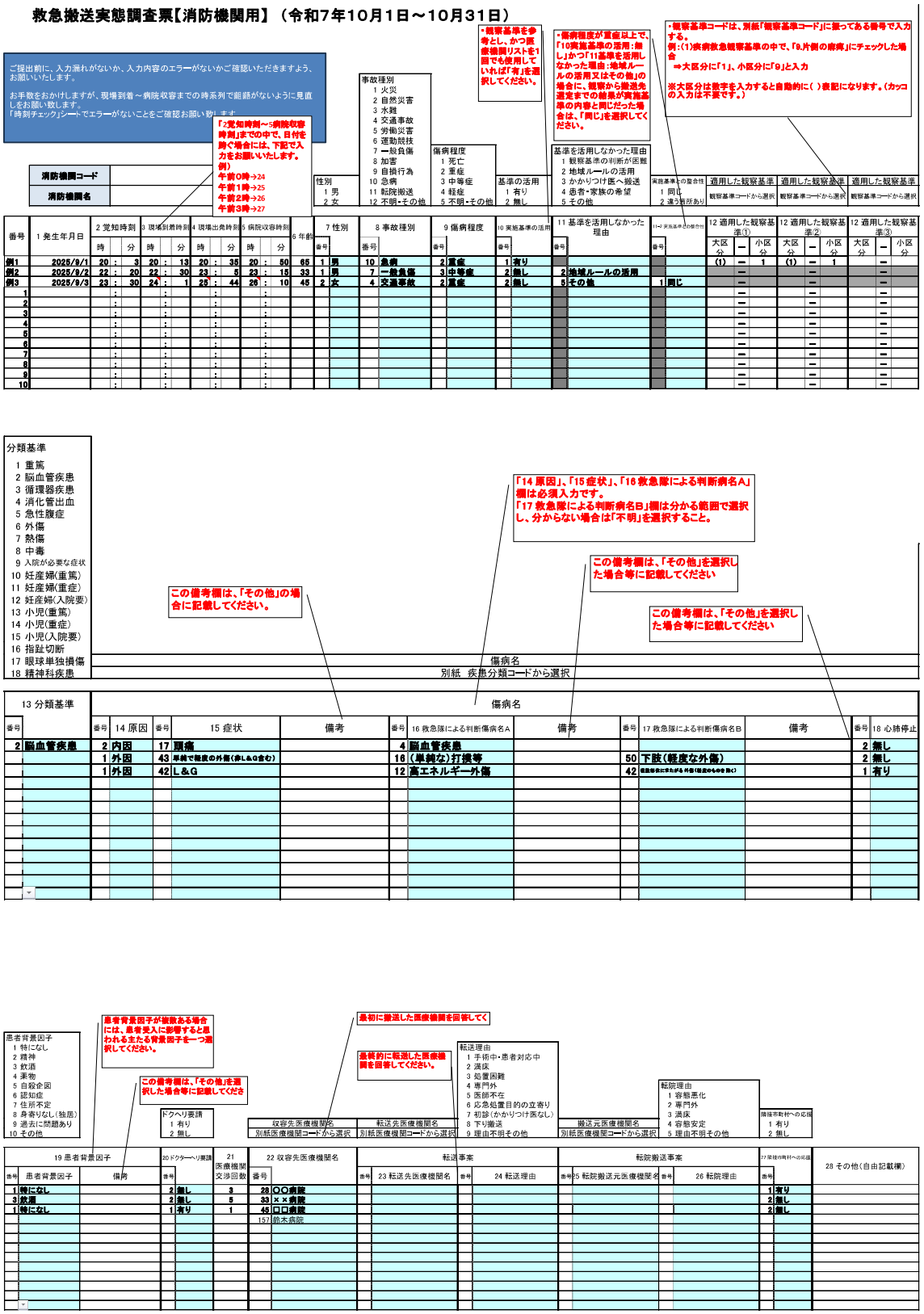
② 必要書類の発送、個別データの回収及び集計等の業務を外部委託します。
また、収集する個別データは千葉県個人情報保護条例に規定される「個人情報」には該当しませんが、委託に当たっては、県で定めた「個人情報取扱特記事項」を委託業者に遵守させます。

③ **調査結果については、とりまとめ次第、御協力いただいた消防機関及び医療機関に報告する予定です。**

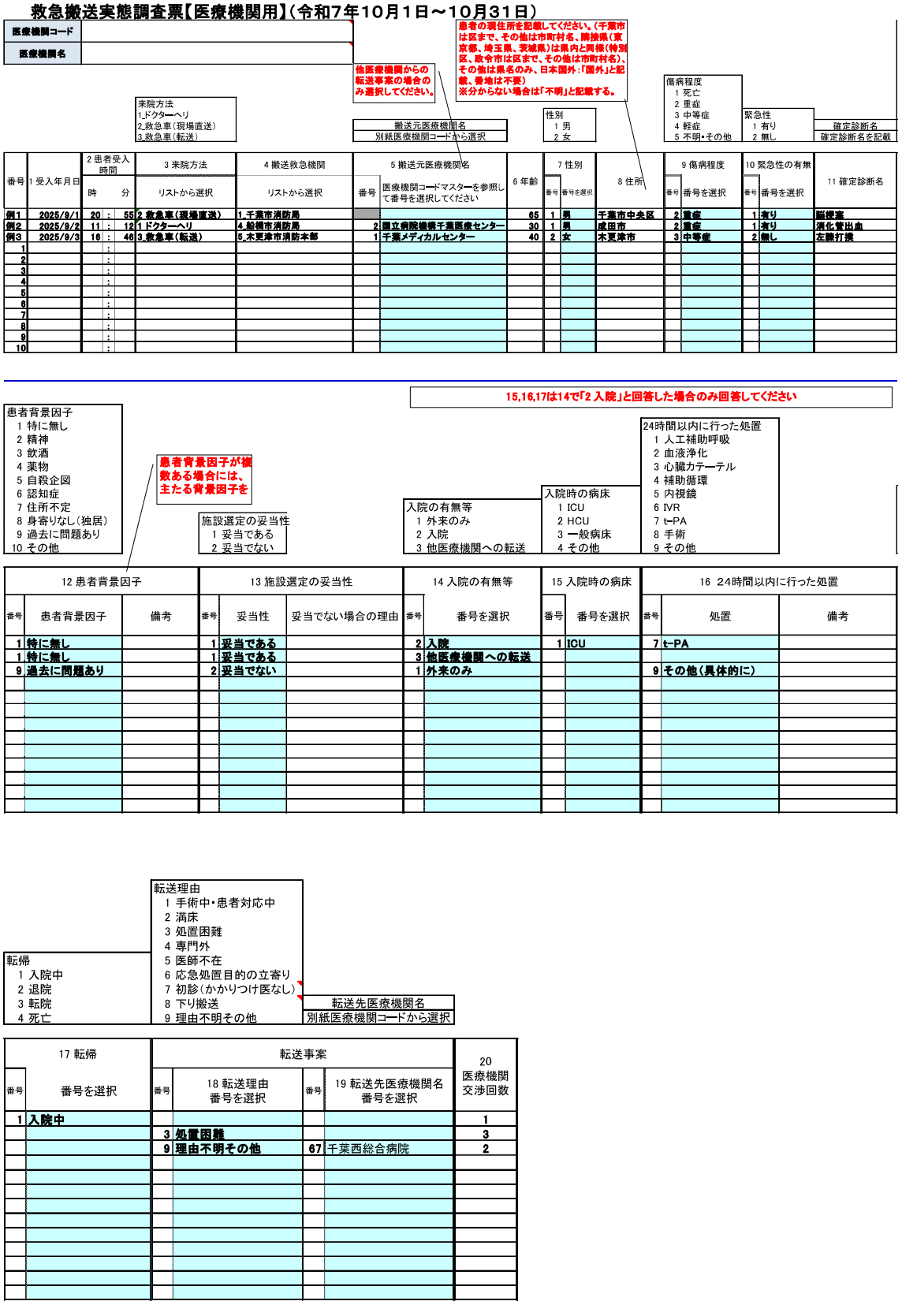
④ **調査結果については、県が施策の検討や会議等で使用する場合があります。**

２．調査様式

救急搬送実態調査票【消防機関用】



救急搬送実態調査票【医療機関用】



救急搬送実態調査票【医療機関用】（令和7年10月1日～10月31日）

医療機関コード	
医療機関名	

他医療機関からの転送事案の場合のみ選択してください。

患者の現住所を記載してください。（千葉市は区まで、その他は市町村名、隣接県（東京都、埼玉県、茨城県）は県内と同様（特別区、政令市は区まで、その他は市町村名）、その他は県名のみ、日本国外：「国外」と記載、番地は不要）
※分からない場合は「不明」と記載する。

来院方法
1_ドクターヘリ
2_救急車（現場直送）
3_救急車（転送）

搬送元医療機関名
別紙医療機関コードから選択

性別
1 男
2 女

傷病程度
1 死亡
2 重症
3 中等症
4 軽症
5 不明・その他

緊急性
1 有り
2 無し

確定診断名
確定診断名を記載

番号	1 受入年月日	2 患者受入時間 時	分	3 来院方法 リストから選択	4 搬送救急機関 リストから選択	5 搬送元医療機関名 番号	医療機関コードマスターを参照して番号を選択してください	6 年齢	7 性別 番号	番号を選択	8 住所	9 傷病程度 番号	番号を選択	10 緊急性の有無 番号	番号を選択	11 確定診断名
例1	2025/9/1	20	55	2_救急車（現場直送）	1_千葉市消防局			65	1	男	千葉市中央区	2	重症	1	有り	脳梗塞
例2	2025/9/2	11	12	1_ドクターヘリ	4_船橋市消防局	2	国立病院機構千葉医療センター	30	1	男	成田市	2	重症	1	有り	消化管出血
例3	2025/9/3	16	46	3_救急車（転送）	5_木更津市消防本部	1	千葉メディカルセンター	40	2	女	木更津市	3	中等症	2	無し	左脾打撲
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																

15,16,17は14で「2 入院」と回答した場合のみ回答してください

患者背景因子
1 特に無し
2 精神
3 飲酒
4 薬物
5 自殺企図
6 認知症
7 住所不定
8 身寄りなし（独居）
9 過去に問題あり
10 その他

患者背景因子が複数ある場合には、主たる背景因子を

施設選定の妥当性
1 妥当である
2 妥当でない

入院の有無等
1 外来のみ
2 入院
3 他医療機関への転送

入院時の病床
1 ICU
2 HCU
3 一般病床
4 その他

24時間以内に行った処置
1 人工補助呼吸
2 血液浄化
3 心臓カテーテル
4 補助循環
5 内視鏡
6 IVR
7 t-PA
8 手術
9 その他

12 患者背景因子 番号	患者背景因子	備考	13 施設選定の妥当性 番号	妥当性	妥当でない場合の理由	14 入院の有無等 番号	番号を選択	15 入院時の病床 番号	番号を選択	16 24時間以内に行った処置 番号	処置	備考
1	特に無し		1	妥当である		2	入院	1	ICU	7	t-PA	
1	特に無し		1	妥当である		3	他医療機関への転送					
9	過去に問題あり		2	妥当でない		1	外来のみ			9	その他（具体的に）	

転帰
1 入院中
2 退院
3 転院
4 死亡

転送理由
1 手術中・患者対応中
2 満床
3 処置困難
4 専門外
5 医師不在
6 応急処置目的の立寄り
7 初診（かかりつけ医なし）
8 下り搬送
9 理由不明その他

転送先医療機関名
別紙医療機関コードから選択

17 転帰 番号	番号を選択	転送事案 番号	18 転送理由 番号を選択	番号	19 転送先医療機関名 番号を選択	20 医療機関交渉回数
1	入院中					1
		3	処置困難			3
		9	理由不明その他	67	千葉西総合病院	2

救急搬送実態調査票【夜急診用】

救急搬送実績調査票【夜急診用】（令和７年１０月１日～１０月３１日）

医療機関コード	
医療機関名	

患者の現住所を記載してください。
（千葉市は区まで、その他は市町村名、隣接県（東京都、埼玉県、茨城県）は県内と同様（特別区、政令市は区まで、その他は市町村名）、その他は県名のみ、日本国外：「国外」と記載、番地は不要）
※分からない場合は「不明」と記載する。

来院方法
1 救急車
2 自家用車（タクシー）
3 徒歩
4 その他
5 不明

性別
1 男
2 女

傷病程度
1 死亡
2 重症
3 中等症
4 軽症
5 不明・その他

番号	1 発生年月日	2 患者受入時間 時		分	3 来院方法 番号		4 年齢	5 性別 番号		6 住所	7 傷病程度 番号		8 診断名（暫定）
例1	2025/9/1	20	:	55	1	救急車	65	1	男	千葉市美浜区	4	軽症	左肘打撲
例2	2025/9/2	19	:	30	2	自家用車（タクシー）	3	2	女	八千代市	4	軽症	熱性けいれん
例3	2025/9/3	22	:	15	2	自家用車（タクシー）	40	1	男	市原市	3	中等症	脳梗塞の疑い
1			:										
2			:										
3			:										
4			:										
5			:										
6			:										
7			:										
8			:										
9			:										
10			:										

この備考欄は、「その他」を選択した場合等に記載してくださ

転送理由
1 病状
2 患者の希望
3 必要な検査ができない
4 その他

転送先医療機関名
別紙医療機関コードから選択

転送先が二次輪番病院か
1 ○
2 ×

転送事案 番号	9 転送理由	備考	番号	10 転送先医療機関名	番号	11 転送先が二次輪番病院か	二次輪番病院以外に転送した理由	12 医療機関交渉回数
2	患者の希望				1	○		2
3	必要な検査ができない				1	○		1
1	病状				2	×	輪番病院が受入不可だったため	4

３．疾病分類表

疾患分類コード

原因		症　状		救急隊による判断傷病名				心肺停止	
				A		B			
1	外因	1	ショック	1	呼吸器疾患	1	感冒・上気道炎	1	有り
2	内因			2	循環器疾患	2	気管支喘息	2	無し
3	不明	2	喀血	3	消化器疾患	3	肺炎・気管支炎		
		3	吐血	4	脳血管疾患	4	COPD		
		4	下血	5	泌尿器疾患	5	急性冠症候群		
		5	血尿	6	産婦人科疾患	6	心不全		
		6	その他の出血	7	筋骨格疾患	7	不整脈		
				8	精神科疾患	8	大動脈疾患		
		7	喘息	9	内分泌・代謝性疾患	9	（急性）胃腸炎		
		8	過呼吸	10	その他の内因性疾患	10	消化管出血		
		9	咳	11	その他の特殊疾患	11	腹膜炎（胆嚢炎、膵炎などを含む）		
		10	その他の呼吸苦・呼吸困難			12	腸閉塞症		
				12	高エネルギー外傷	13	クモ膜下出血		
		11	嘔気・嘔吐	13	穿通性外傷	14	脳出血		
		12	腹痛	14	指趾切断・不全断裂	15	脳梗塞		
		13	下痢	15	（単純な）切創・挫創等	16	不明の脳卒中		
		14	便秘	16	（単純な）打撲等	17	てんかん		
		15	腹満感	17	（単純な）捻挫・脱臼・骨折	18	熱性けいれん		
		16	その他の腹部症状	18	広範囲熱傷	19	尿路感染症		
				19	気道熱傷	20	尿路結石		
		17	頭痛	20	上記以外の熱傷	21	尿閉		
		18	発熱	21	電撃傷	22	周産期に伴う疾患		
		19	感冒症状	22	急性薬物中毒	23	筋骨関連疼痛		
				23	急性アルコール中毒	24	過換気症候群		
		20	意識障害（意識消失・失神を含む）	24	一酸化炭素中毒	25	統合失調症		
		21	麻痺	25	（何らかの）ガス中毒	26	うつ病		
		22	構音障害	26	原因不明の中毒	27	パニック障害		
		23	意識障害を伴うけいれん（全身けいれん）	27	熱中症	28	ヒステリー		
		24	意識障害を伴わないけいれん（部分けいれん）	28	偶発性低体温	29	その他の精神科疾患		
		25	めまい	29	窒息・異物誤飲（誤嚥）	30	低血糖発作		
		26	不穏	30	溺水	31	アナフィラキシー		
				31	縊頚	32	その他のアレルギー		
		27	歯・頸・肩・四肢・関節・体表の痛みやしびれ（外傷は除く）			33	婦人科疾患		
						34	眼科疾患		
		28	かゆみ・発疹・発赤など皮膚・目・鼻のアレルギー症状	32	その他	35	耳鼻科疾患		
				33	不明				
		29	胸痛	34	新型コロナウイルス	36	頭部・頸部外傷（軽度のものを除く）		
		30	背部痛			37	顔面外傷（軽度のものを除く）		
		31	腰痛			38	胸部外傷（軽度のものを除く）		
						39	腹部外傷（軽度のものを除く）		
		32	動悸・頻脈・不整脈			40	骨盤外傷（軽度のものを除く）		
						41	四肢外傷（軽度のものを除く）		
		33	陣痛			42	複数部位にまたがる外傷（軽度のものを除く）		
		34	不正性器出血						
							（軽度な外傷の部位）		
		35	気分不快・倦怠感			43	頭部（軽度な外傷）		
		36	歩行障害			44	顔面（軽度な外傷）		
		37	脱力			45	頸部（軽度な外傷）		
		38	食思不振			46	胸部（軽度な外傷）		
		39	衰弱			47	腹部（軽度な外傷）		
						48	骨盤部（軽度な外傷）		
		40	高血圧			49	上肢（軽度な外傷）		
		41	低血圧			50	下肢（軽度な外傷）		
						51	背面（軽度な外傷）		
		42	L＆G						
		43	単純で軽度の外傷（非L＆G含む）			52	その他		
		44	熱傷			53	不明		
		45	過量服薬			54	新型コロナウイルス		
		46	酩酊						
		47	（何らかの）中毒						
		48	環境異常						
		49	その他の外因						
		50	その他						